



FY2025 決算プレゼンテーション

インテグラル株式会社

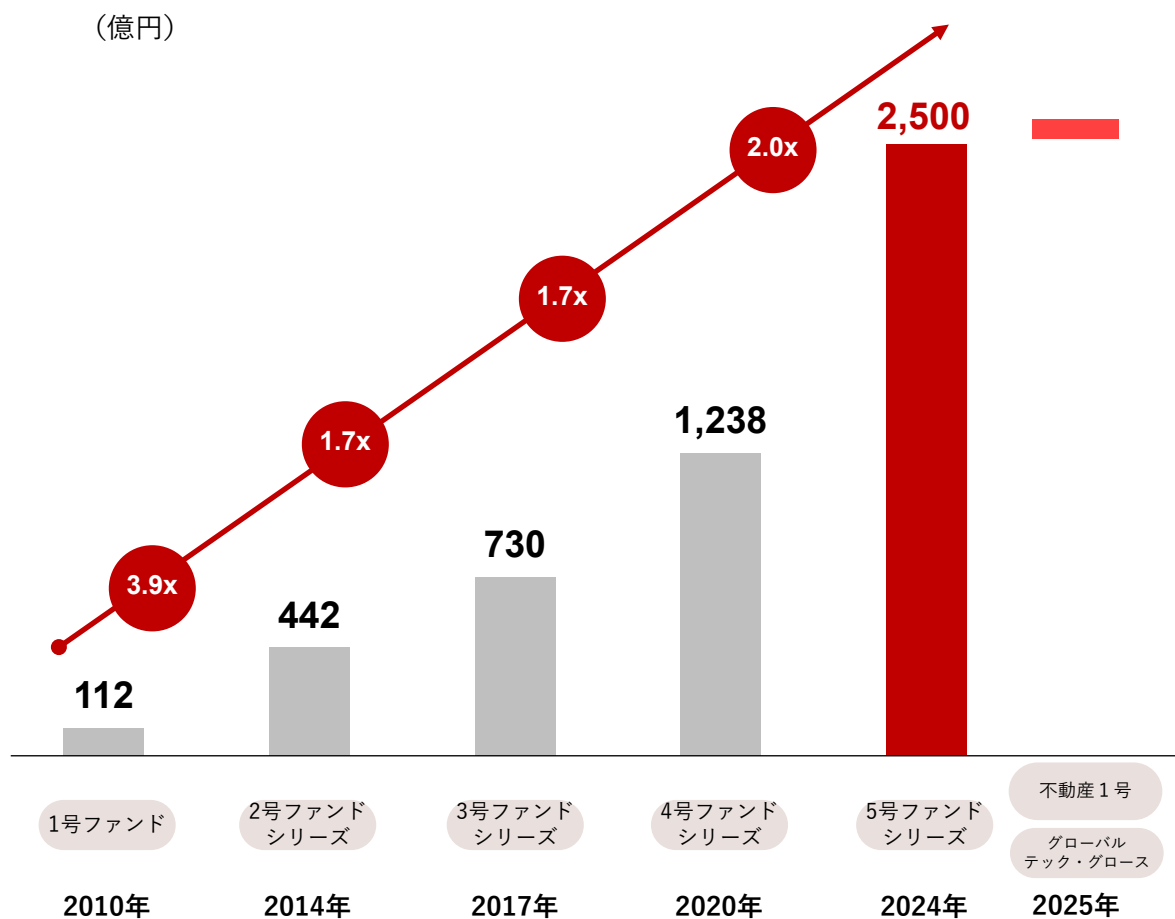
2026年2月

2025年：マルチアセット化の進捗

2025年に新規設立・運用開始



進化する日本型プライベートエクイティファンド



グロスMOIC¹

3.1x

グロスIRR¹

31.5%

FE-AUM²

3,789億円

投資
プロフェッショナル³

73人/113人

1. 投資期間中である5号ファンドシリーズを除く、1号ファンド、2号ファンドシリーズ、3号ファンドシリーズ、4号ファンドシリーズのグロスMOIC、グロスIRRの単純平均（1号ファンドはファンド清算時、2号ファンドシリーズ、3号ファンドシリーズ、4号ファンドシリーズは2025年12月末時点）
2. 2025年12月期より不動産1号ファンドの金額も集計に含めています
3. グループ全体

本日のアジェンダ

1. PE投資事業
2. 不動産投資事業
3. その他事業
4. 2025年度の実績
5. 成長戦略
6. 今期以降の見通し

総括

Appendix



1

PE投資事業

日本の中堅企業に注力しながら、 これまでに投資した事業価値（EV）累計は7,000億円超

1号



封入封緘機 大手



世界的バリコレブランド

SHICATA CO.

女性靴OEM 大手



TVCM制作 大手



住宅賃貸斡旋 大手



光部品市場グローバルニッチ

2号



高集客居酒屋チェーン



くさび型足場製造 大手



低価格帯ネイルサロン 大手



低価格帯カット国内最大手



第3極最大手キャリア



世界最大級のクロマグロ養殖場運営



レディースアパレル 大手



毛髪関連事業 大手



車載用サーミスタ業界 大手

3号



ダイレクトマーケティング事業運営



IT/RPAの専門家集団



肥料/アンモニア化学プラントEPC 大手



独立系肥料メーカー 大手

サンデン・リテールシステム株式会社
自販機・冷蔵ショーケース 大手

ベルトコンベア部品 大手・ロボットSlr



DX/IoTの専門家集団



カラーコンタクト企画販売 大手



プライダルリング 大手

4号



フォト関連市場 大手



業務用木製家具 大手



半導体用フォトマスク 大手



投資用アパート販売 国内 大手



オフィスコーヒースerviceパイオニア



精密加工技術グローバルニッチ



国内最大規模のIT人材事業者



国内最大の動物病院グループ



大型高層ビル用の鉄骨ファブリケーター



アート玩具のパイオニア

5号

旭化成メディカル株式会社

血液浄化関連製品の開発・製造・販売



インターネットによる総合ゴルフサービスの提供



DX化を推進するソリューションプロバイダー

投資・Exit状況

2025年12月末時点

	投資先	企業概要	ファンド	プリンシパル
I		封入封緘機メーカー	Exit	Exit
		世界的パリコレブランド	Exit	投資中
	SHICATA co.	女性靴OEM	Exit	Exit
		TVC制作事業	Exit	-
		住宅賃貸斡旋	Exit	-
II		光部品市場グローバルニッチ企業	Exit	Exit
		マルチブランド、高集客居酒屋チェーン	Exit	-
		くさび形足場の製造・販売	Exit	-
		低価格帯ネイルサロン	Exit	Exit
		低価格帯カット事業	Exit	投資中
		第3極最大手キャリア	Exit	Exit
		世界最大級のクロマグロ養殖場	Exit	-
		大手レディースアパレル	Exit	投資中
		ウィッグ等の毛髪関連事業	投資中	-
		センサで世界を測る、未来を拓く。 車載用サーミスタ製造	Exit	Exit
III		ダイレクトマーケティング事業	部分Exit	投資中
		RPAを中心としたITプロ集団	Exit	Exit
		肥料/エチレンプラントの開発	投資中	投資中
		独立系肥料メーカー	Exit	Exit

	投資先	企業概要	ファンド	プリンシパル
III		自販機・冷蔵ショーケース製造・販売 サンデン・リチアルシステム株式会社	投資中	投資中
		ベルトコンベア部品製造・販売	Exit	投資中
		システムインテグレーター	部分Exit	部分Exit
	T-Garden	カラーコンタクト企画販売	Exit	Exit
		ブライダルリング事業	部分Exit	投資中
IV		新品・中古カメラの小売	投資中	投資中
		インテリア・コンラクト家具の企画・製造	投資中	投資中
		半導体用フォトマスクの製造及び販売	Exit	投資中
		投資用アパートの開発・販売	投資中	投資中
		オフィスコーヒーサービス事業	投資中	投資中
		精密機器の製造及び販売	投資中	投資中
		ソフトウェア関連事業	投資中	投資中
		動物病院グループ	投資中	投資中
		大型高層ビル用の鉄骨ファブリケーター	投資中	投資中
		キャラクター玩具の企画・開発・販売企業	投資中	投資中
V		血液浄化関連製品の開発・製造・販売	投資中	投資中
		インターネットによる総合ゴルフサービスの提供	投資中	投資中
		DX化を推進するソリューションプロバイダー	投資中	投資中

投資中案件

投資・Exitともにアクティブ

1-3Q



旭化成メディカル
株式会社



4号投資

5号投資

3号回収

5号投資

4号追加投資

2025年1月

2025年4月

2025年6月

2025年6月

2025年8月

日本有数の鉄骨ファ
ブリーケーターへの
資本参加

旭化成メディカルの
血液浄化事業に
資本参加

スタンダード市場
上場に伴う売出し

ゴルフダイジェスト・オ
ンラインへの公開買付け
(7月3日に完了)

E2ケアホールディン
グスの株式取得

4Q



4号投資

5号投資

4号回収

4号追加投資

2025年10月

2025年10月

2025年10月

2025年12月

メディコム・トイ
への資本参加

エクストリンクホール
ディングスへの資本参加

プライム市場上場
に伴う売出し

Japan Animal Care
HDによる株式会社
Anchorsとの資本提携

独自の投資アプローチ：ケース紹介

旭化成メディカル株式会社

事業概要：血液浄化関連製品の開発・製造・販売において50年以上の歴史を有するグローバル企業

主な商品

透析(主にダイアライザー)



アフエレシス (カラム・装置)



クリオシール



集中治療領域



投資テーマ

- 独立に伴うスタンドアロン体制の構築
- 透析事業の更なる収益力の強化
- アフエレシス事業（クリオシール、集中治療領域含む）の営業/マーケティング強化及び海外展開強化

i-Engineの支援

- 常駐者・社外取締役を派遣し、投資テーマの推進
- インテグラルのネットワークを活用した新規事業や海外展開の更なる強化等

なぜ今が好機なのか？

事業承継

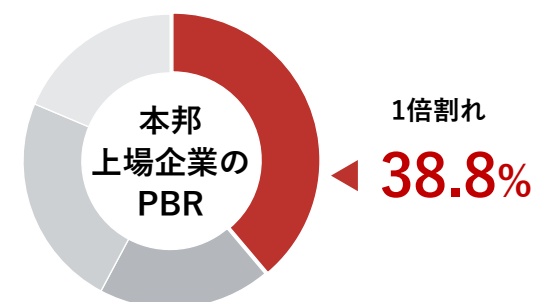
中小企業経営者の
70歳以上比率

25.3%

直近5年間の
事業承継M&Aの
増加率

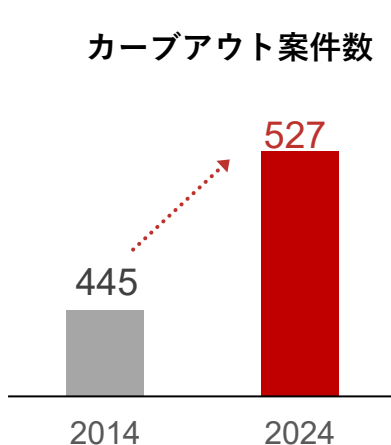
約3x

割安な株価評価

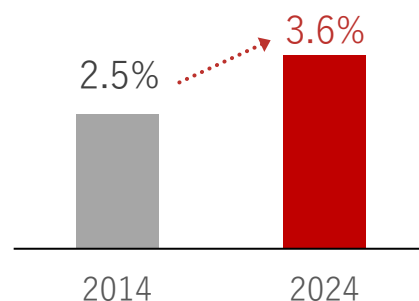


カーブアウト

カーブアウト案件数



うち、
PEファンド関与比率



アクティビズム

アクティビスト・
機関投資家による提案件数



同意なきTOBの件数



2

不動産投資事業

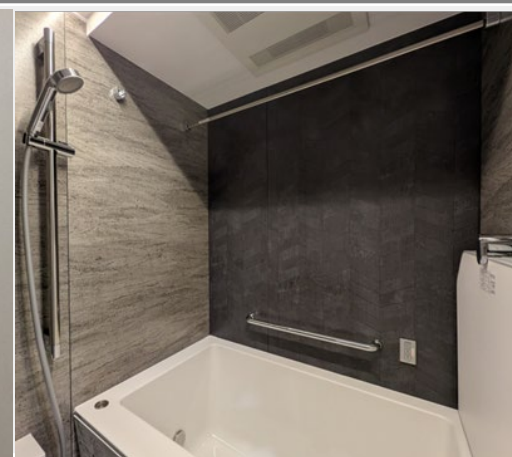
多様なバリューアップ戦略で不動産価値を向上へ

バリューアップ戦略はリノベーションやコンバージョンなど多種多様

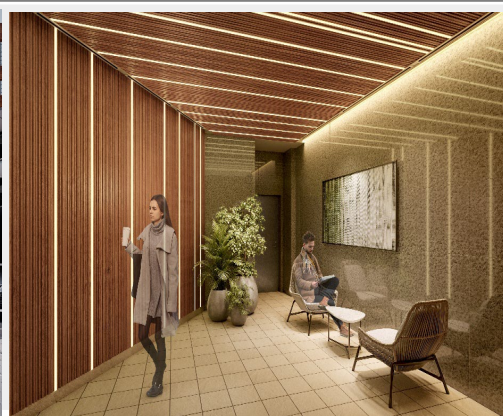
ホテルコンバージョン



住宅リノベーション（専有部）



住宅リノベーション（共用部）



オフィスリノベーション



不動産投資はアクティブに始動

インテグラル・リアルエステート・ファンド1号による物件取得総額は契約ベースで400億円を超過



なぜ今が好機なのか？

インフレ時代に即した高収益の投資機会を提供

国内機関投資家の
バリュートゥアドファンド投資比率はまだ少ない

≈20%

バリュートゥアド戦略への投資家の
関心が拡大しつつある

バリュートゥアド投資の必要性

既存ストックへの価値向上に資する
資本投資により、魅力ある都市を創出

1990

2.8億㎡

2025

1.0億㎡

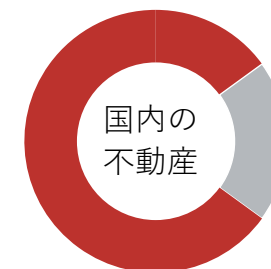
国内における建築着工面積は大幅に減少

事業会社が保有する不動産を深耕

事業会社保有の不動産を掘り起こし、
隠れた価値を引き出しより魅力的に

80%+

証券化されていない
不動産



希少な国内系運用会社

バリュートゥアドの経験を十分に有する
国内系運用会社は希少

≈3社

一任勘定型バリュートゥアドファンドの
国内系運用会社（当社含む）

3

その他事業

グローバルテック・グロース投資事業

<p>投資ステージ グロース</p>	<p>1号ファンドサイズ \$100M</p>	<p>投資対象 Japan Nexus</p>
<p>投資地域 アジア・グローバル</p>	<p>Granite Asia Capital とJV及び 共同ファンド設立</p>	<p>Touring Capital とのアライアンス</p>

Granite AsiaとのJV



GraniteAsia

INTEGRAL



差別化・付加価値

- GraniteはAUM\$50億以上を運用するアジア最大級のマルチアセット投資プラットフォーム
- 日本市場及び市場参入に対する知見・専門性
- 日本、アジアにおけるビジネス拡大に対するハンズオンサポート
- 産業のトッププレイヤー、戦略的パートナー、人材等のネットワークへの広範なアクセス

グローバルテック・グロース投資開始

daloopa

グローバルテック・パートナーズ

2025年9月

AI財務データプラットフォーム企業

notta

Granite-Integral

2025年10月

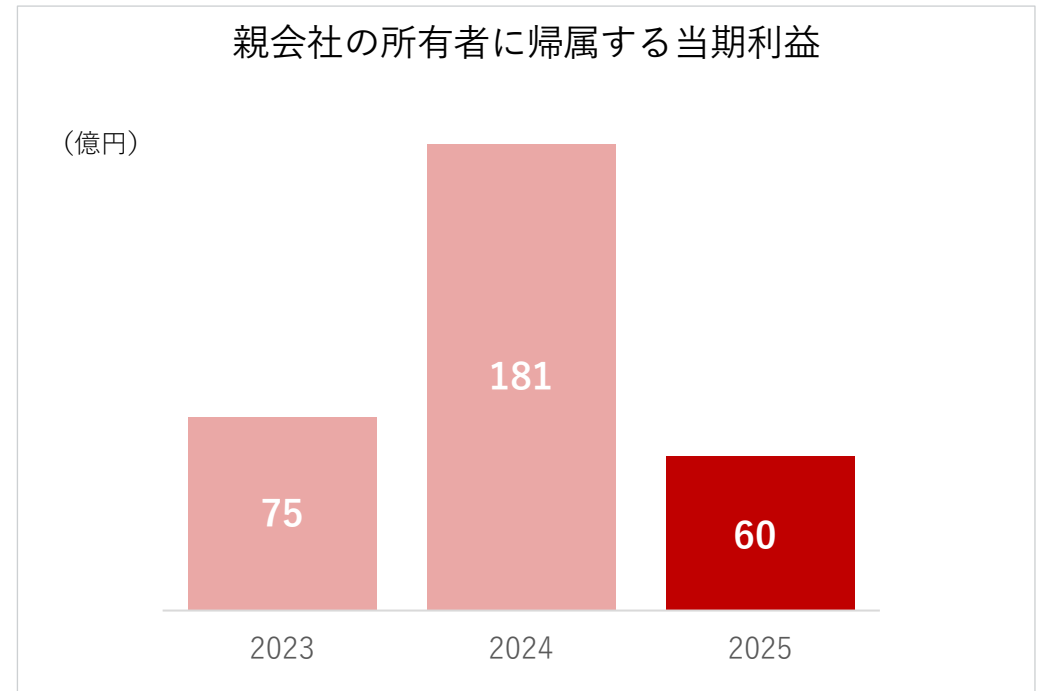
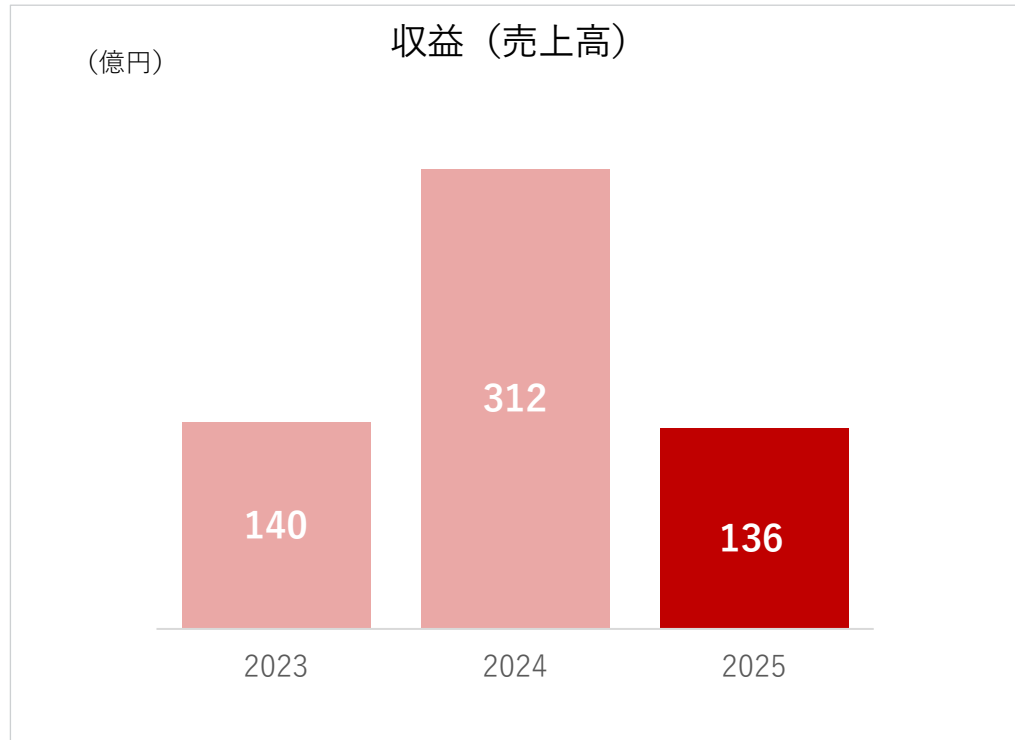
AIを活用した音声議事録・文字起こし
サービスを提供

4

2025年度の実績

収益・利益の推移

主に公正価値減少による影響で収益・利益は前期比で減少（詳細は23p）

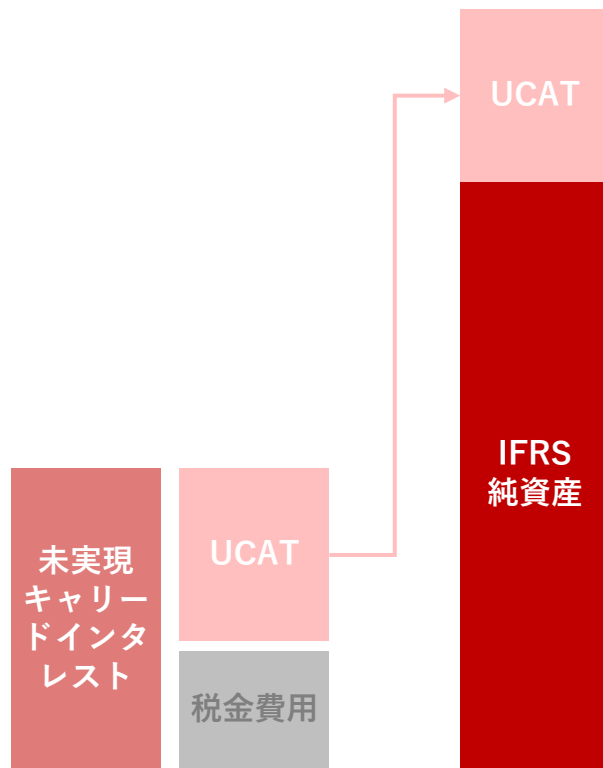


経済収益ベース純資産の着実な成長を目指す

フレームワーク

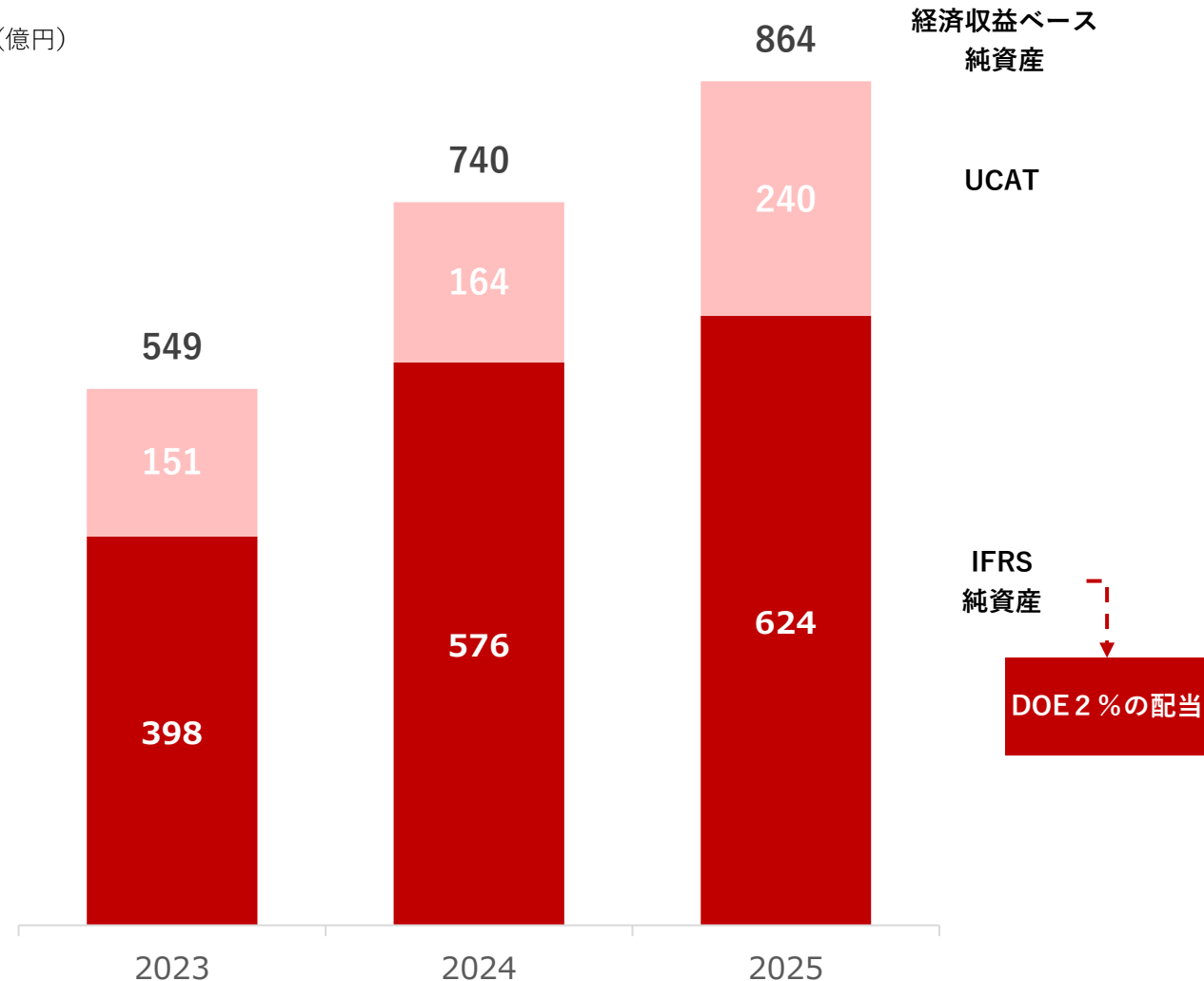
UCAT : 未実現キャリート
インタレスト（税引後）⁽¹⁾

経済収益
ベース純資産⁽²⁾



経済収益ベース純資産

(億円)



1. UCAT（Unrealized Carried-Interest After Tax）/ 未実現キャリートインタレスト（税引後）：未実現キャリートインタレストから足元の実効税率に基づく税金相当額を控除した金額
2. 経済収益ベース純資産：BS上の純資産（親会社の所有者に帰属する持分）+ UCAT

※2025年時点ではグローバルテック・グロースはまだ計上なし。

配当方針・配当金額

2025年12月期の配当金

- 当社の配当方針は、DoE（Dividend on Equity Ratio：株主資本配当率）に基づき配当金額を決定
- 2025年12月期はDoE2%の方針の下、**37円を年間配当金**と決定（2025年12月期末の親会社の所有者に帰属する持分合計に2%を乗じた金額）
- また、支払済の中間配当金17円と上記37円との差額である**20円を期末配当金**と決定

2026年12月期の配当方針

- 2026年12月期も同様にDoE2%の方針を予定
- 2026年12月期の**予想年間配当金は、37円**（**中間18.5円**ならびに**期末18.5円**）
- 上記金額は、前年度（2025年12月末）実績の親会社の所有者に帰属する株主資本持分合計に2%を乗じて計算し、中間・期末を同額に設定

一株当たり配当金			
基準日	中間	期末	年間
2023/12（実績）	0円	0円	0円
2024/12（実績）	12円	22円	34円
2025/12（実績）	17円	20円	37円
2026/12（予想）	18.5円	18.5円	37円

収益・利益の主な変動要因

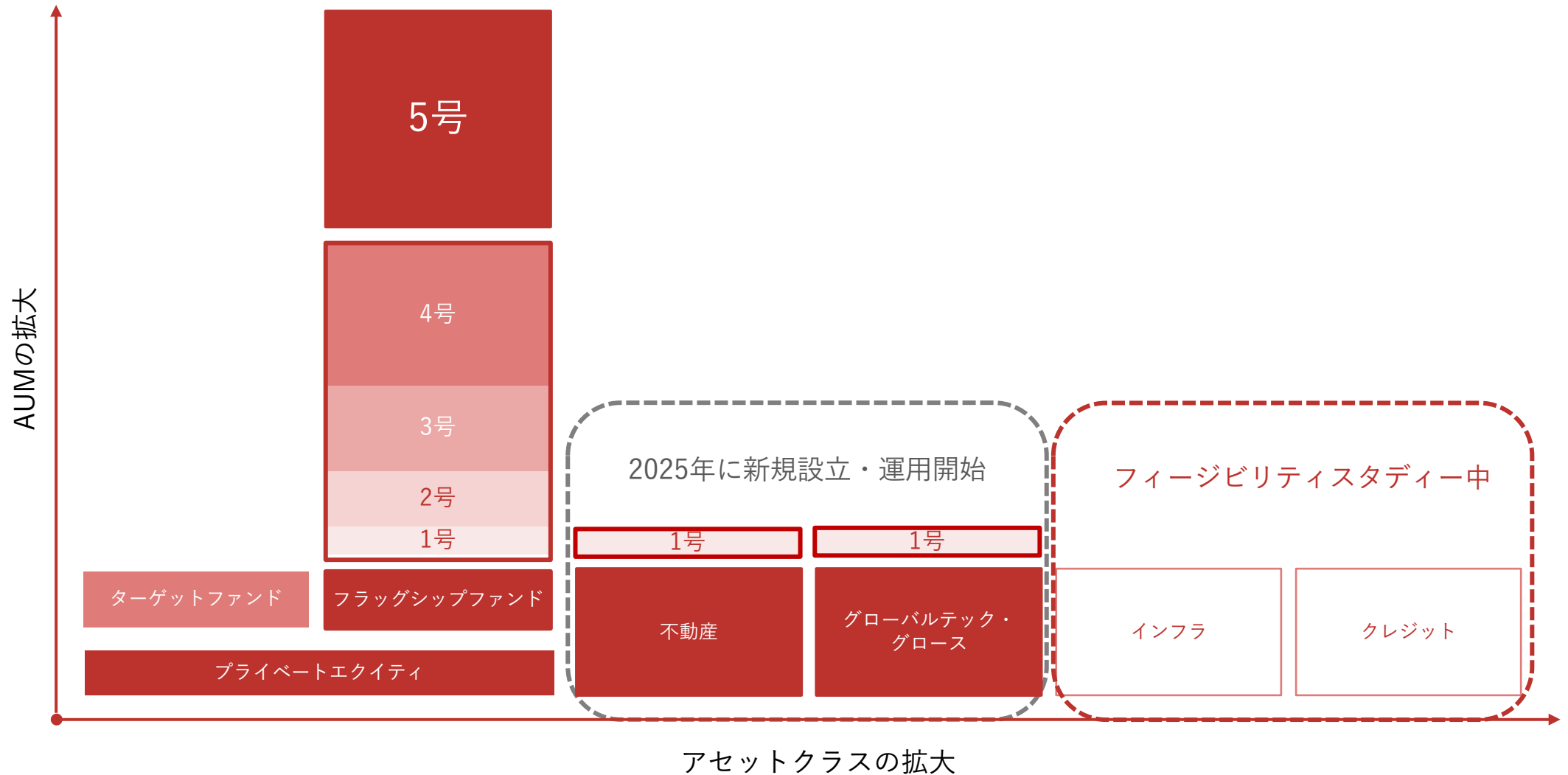
(億円)		2024	2025	YoY	増減・発生要因
収益	投資収益総額 (公正価値変動等)	106	44	△62	<ul style="list-style-type: none"> 投資収益総額は、主に公正価値変動によるもの 各期の公正価値増加の要因 2024：非上場先の業績・バランスシート改善による評価増 2025：上場投資先は株価上昇による評価増。非上場投資先は、一部プリンシパル投資先で業績一巡した先もあるものの、他の投資先のバランスシート改善・評価手法変更等により全体として評価増
	リカーリング	37	78	+41	<ul style="list-style-type: none"> 2025年1月より、5号ファンドシリーズからの管理報酬受領が開始したことで、前期比増加
	実現CI	168	13	△155	<ul style="list-style-type: none"> 各期のCI発生要因 2024：2号・3号ファンドシリーズ（豆蔵K2TOPHDの一部Exit及びそれ以前の投資先、T-Garden）のExitに基づくCI 2025：プリモグローバルHDの一部Exitに基づくCI
	合計	312	136	△176	
親会社の所有者に 帰属する 当期利益		181	60*	△121	<ul style="list-style-type: none"> 減益要因は、主に上述の収益減少によるもの 費用面は、営業費用にて2025年で積極的な投資プロフェッショナルの採用等による人件費増加はあったが、2024は5号ファンドシリーズのファンドレイズ費用が発生していたため、前期比約8億円減少

※防衛特別法人税の創設による実効税率変更に伴って、繰延税金負債を新たな実効税率で計算したことにより、2025の税金費用では、追加的に発生した法人税等調整額を計上

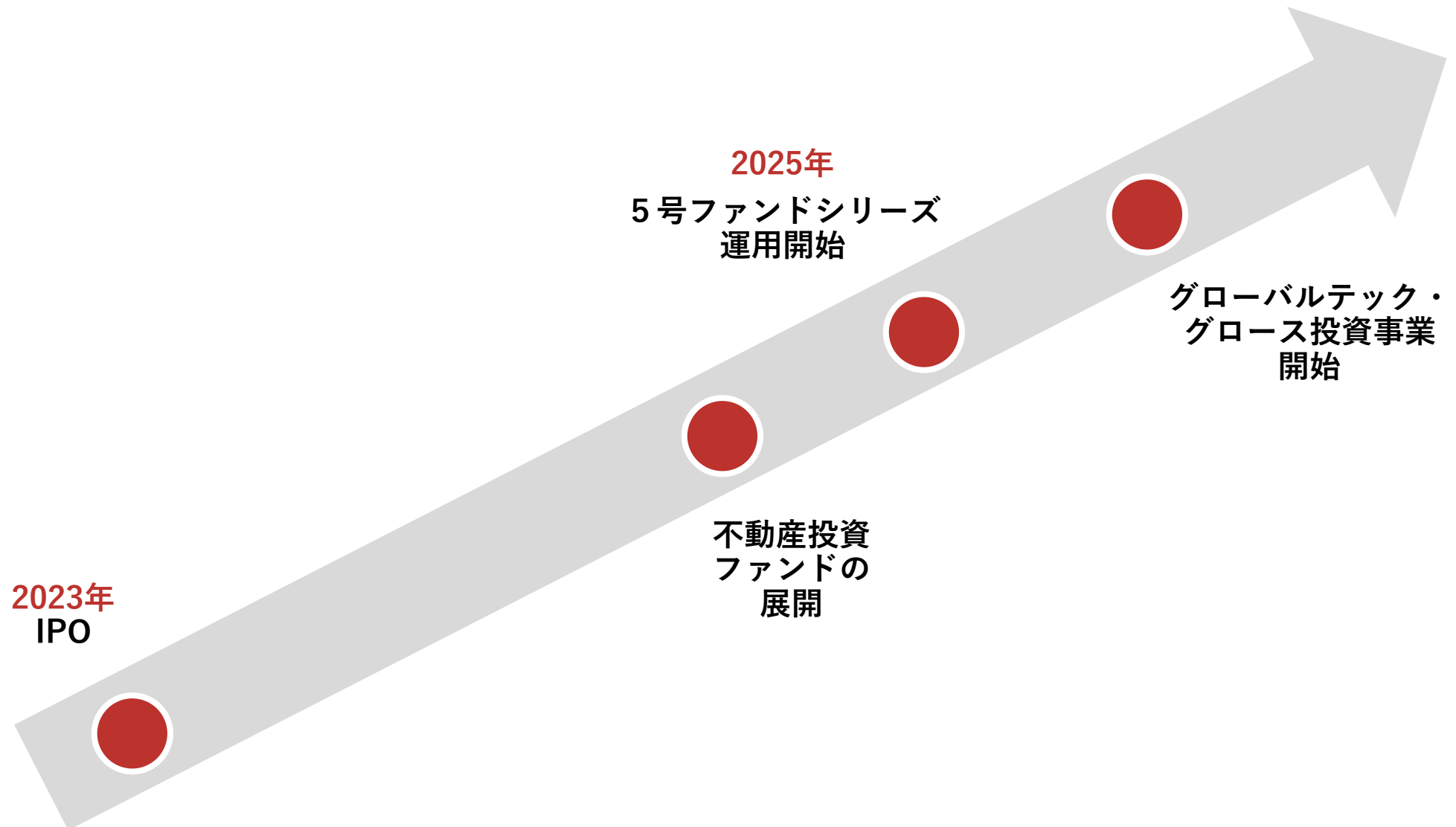
5

成長戦略

マルチアセット化の更なる推進



5号ファンドシリーズの投資は順調



6

今期以降の見通し

収益の3本柱

1

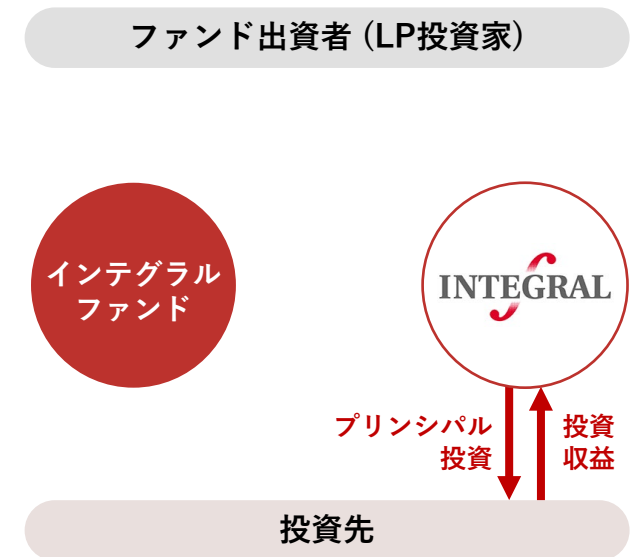
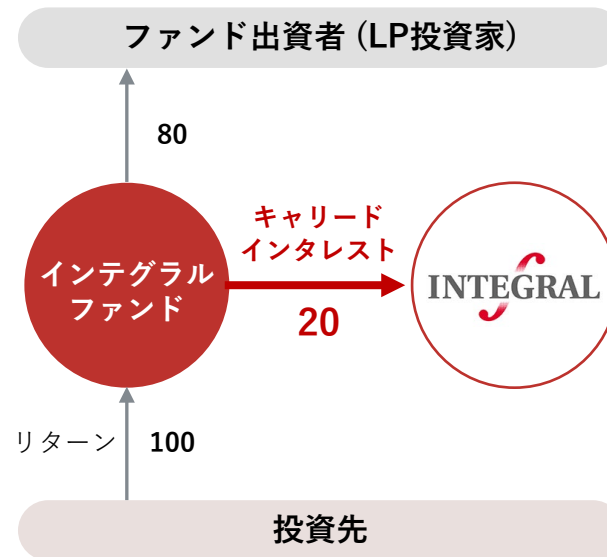
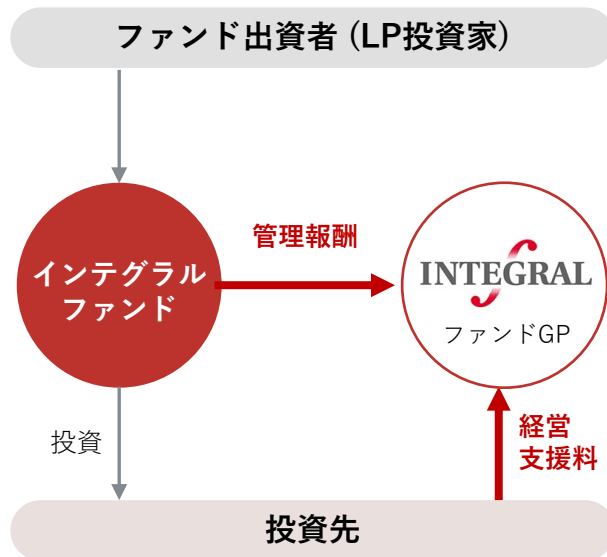
複数ファンドのFE AUMから
一定割合の管理報酬を
毎四半期毎に受領

2

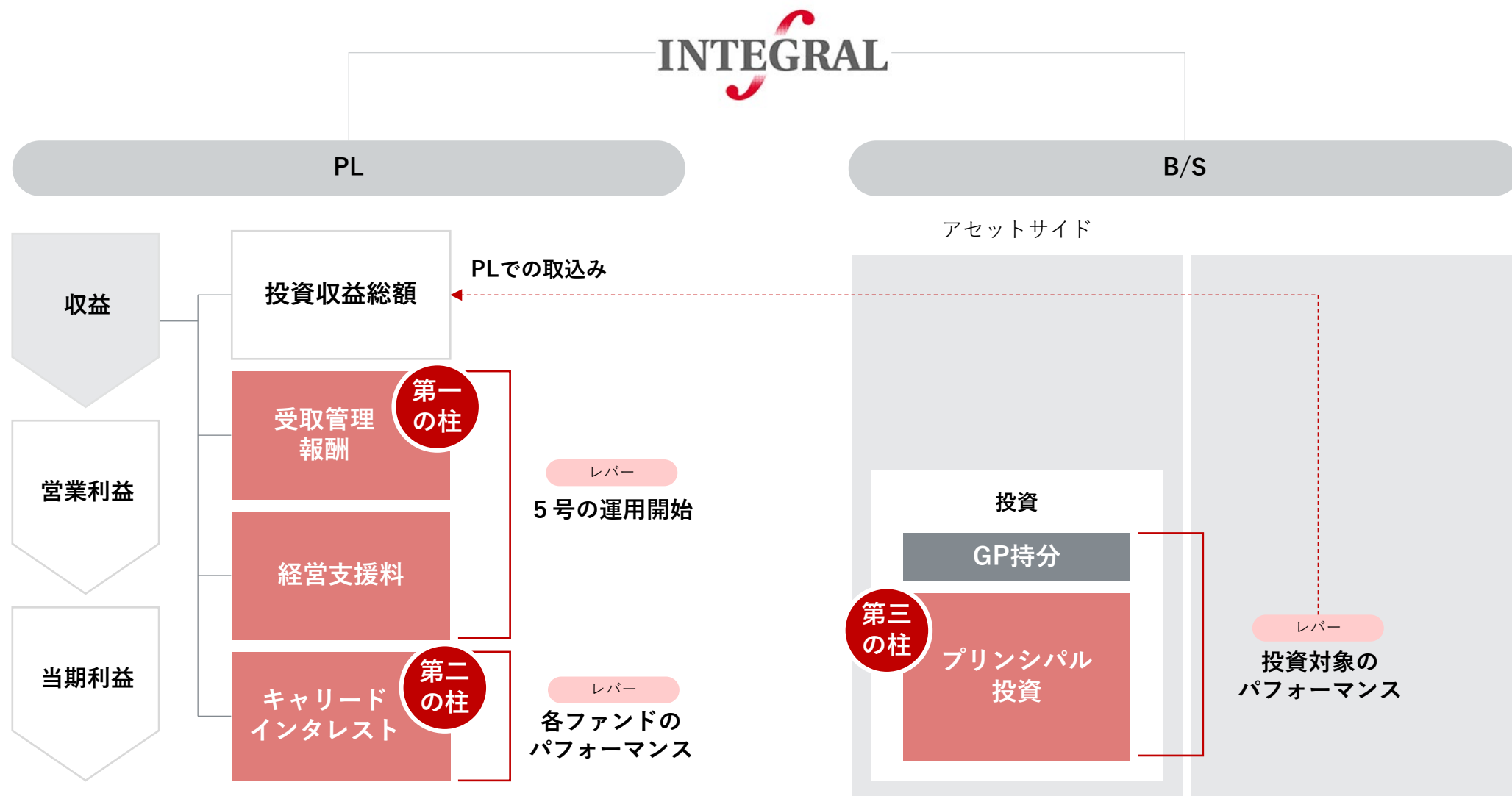
リターンの一定割合を受領

3

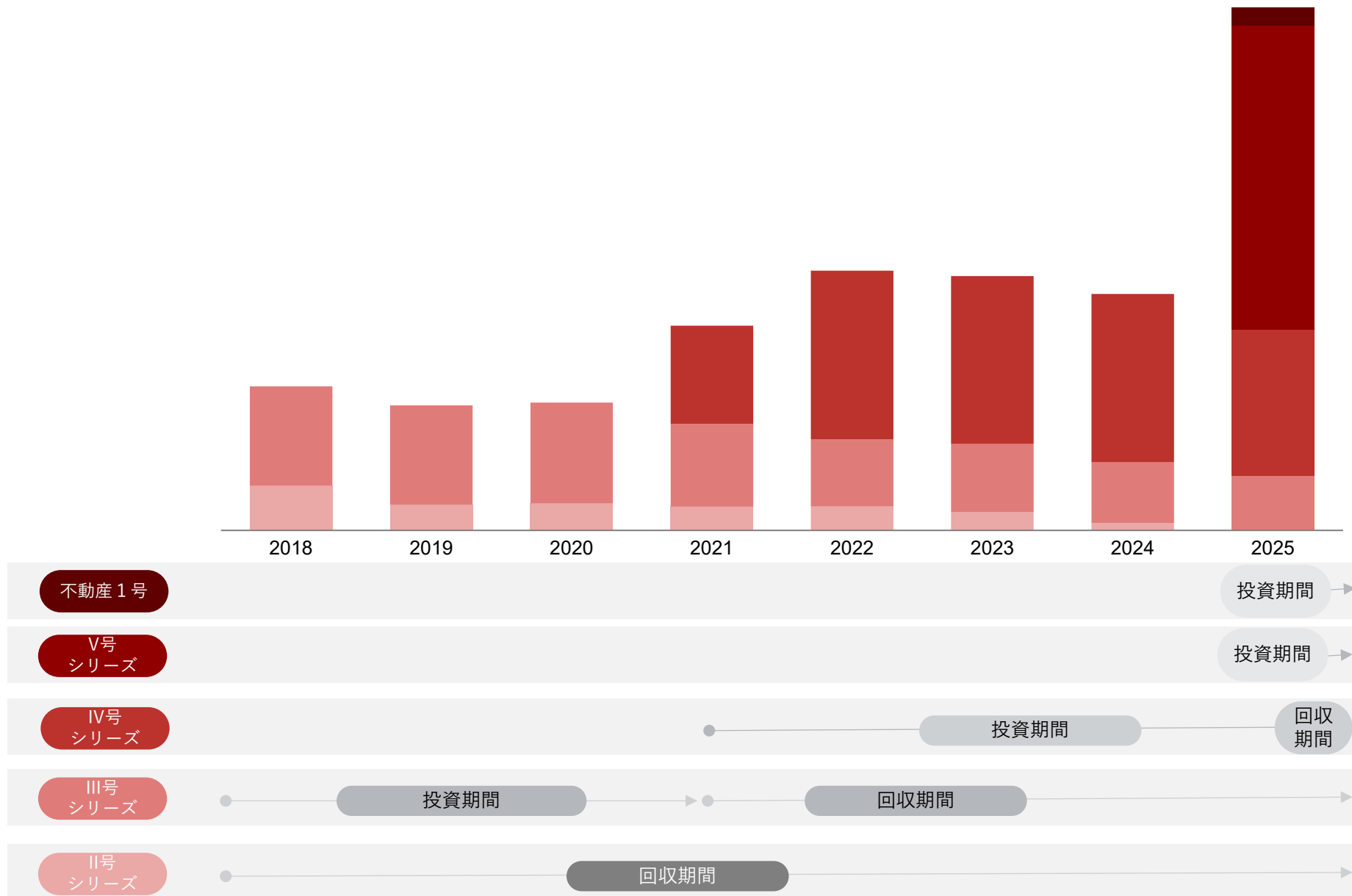
ファンド投資と自己資金を同時に出資。
インテグラルだけが提供する競争優位性



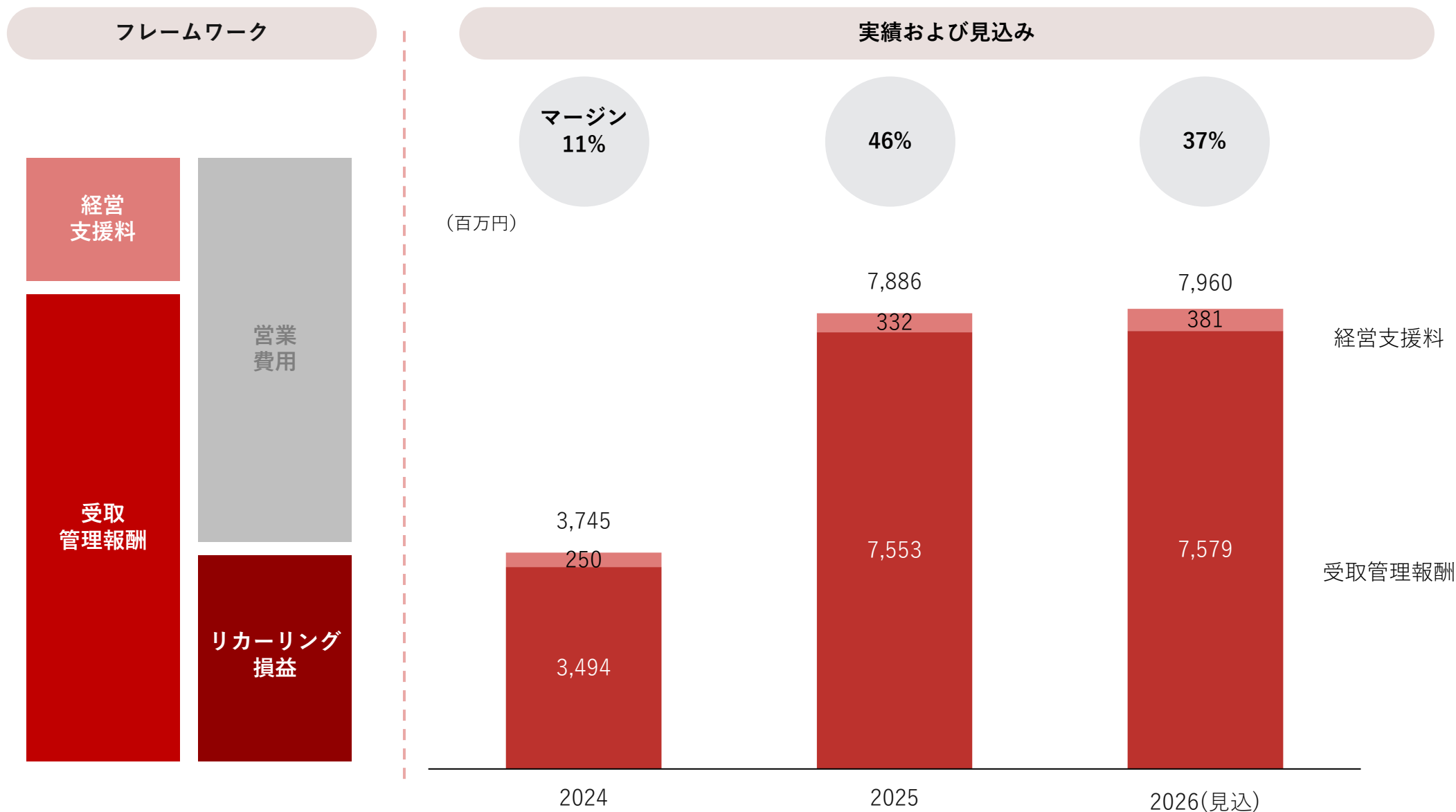
3本柱によるユニークな価値創造モデル



第一の柱① 管理報酬は積み重ねへ



第一の柱② 良好なリカーリングマージン

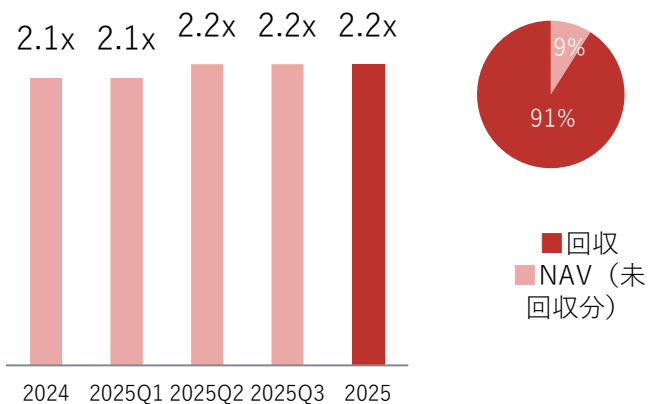


1. マージンの算定においては、営業費用から一時費用を控除。一時費用は、24/12期は1,888百万円、25/12期は125百万円、26/12期は564百万円の見込

第二の柱① 堅実なファンドパフォーマンス

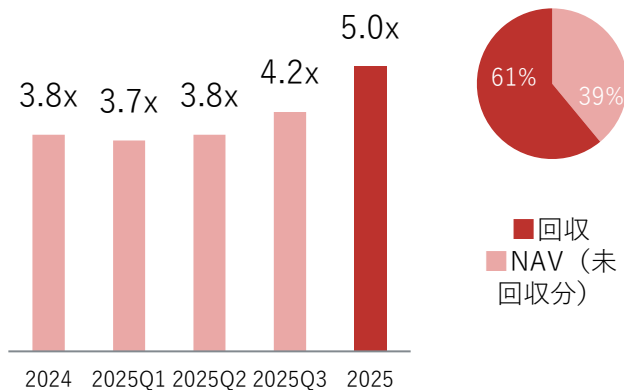
2号ファンドシリーズ

2014～ 出資約束金額：442億円



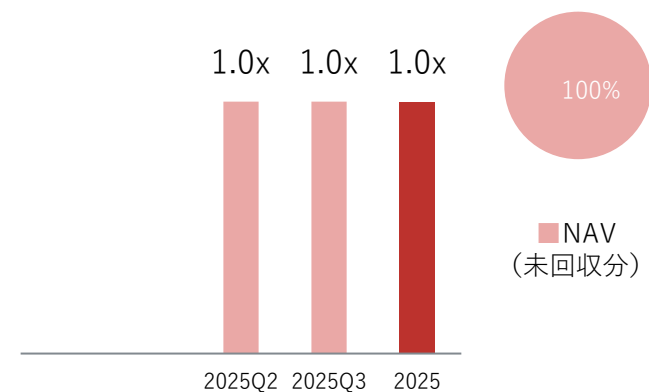
3号ファンドシリーズ

2017～ 出資約束金額：730億円



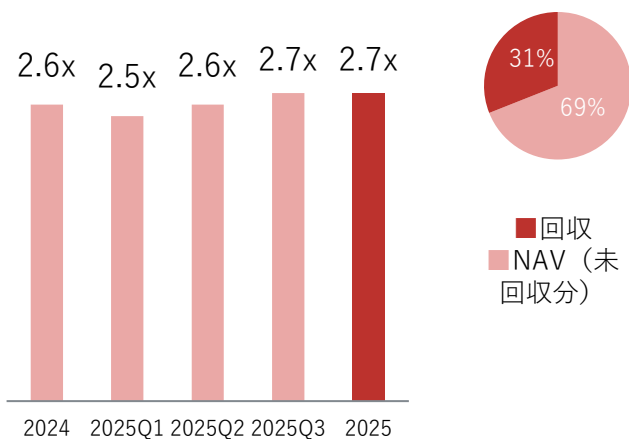
不動産ファンド1号

2025～ ファンドクローズ間近



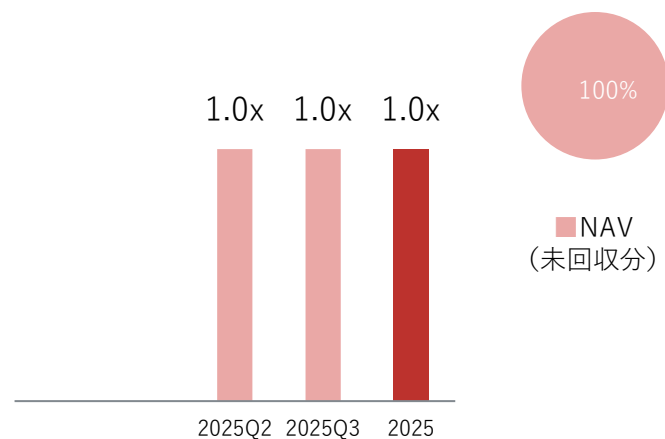
4号ファンドシリーズ

2021～ 出資約束金額：1,238億円



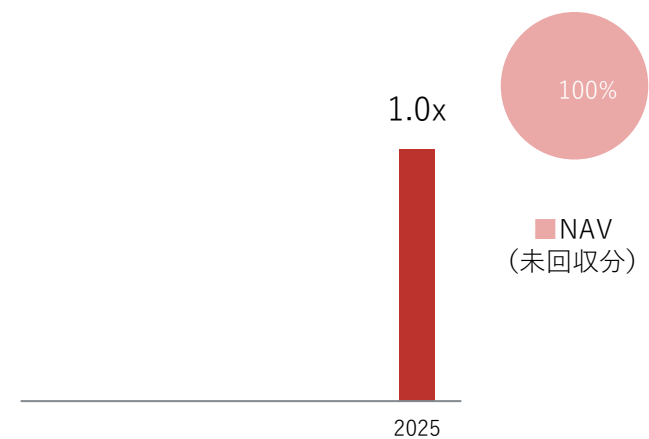
5号ファンドシリーズ

2025～ 出資約束金額：2,500億円

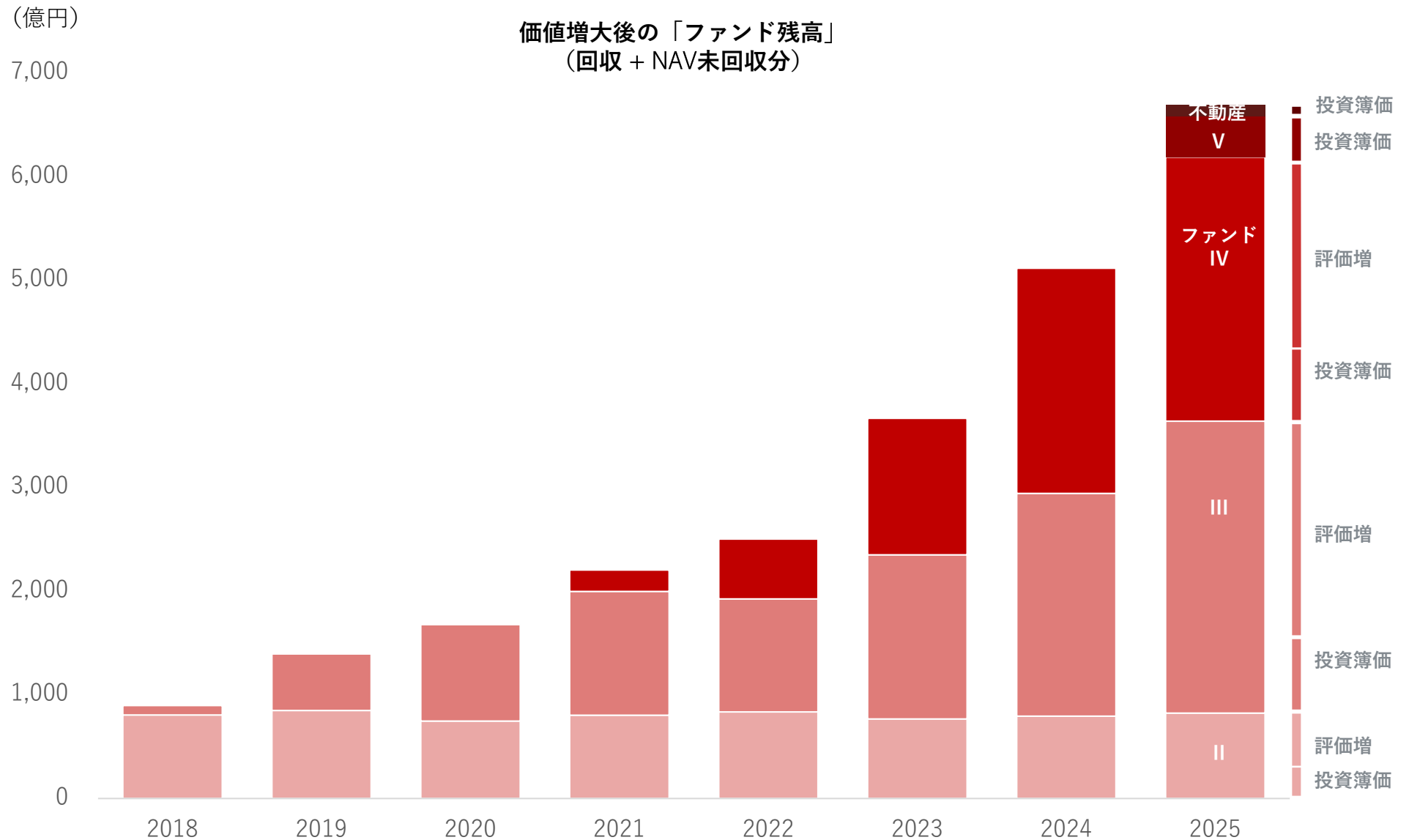


グローバル テック・グロース

2025～ 出資約束金額：\$100M



第二の柱② キャリートインタレストの源泉



第二の柱③

「投資先繁栄」をまず第一に大切にし、結果としてリターンに

ストック残高がどれだけ成長しているか

「ファンド残高」が
価値増大している

源泉

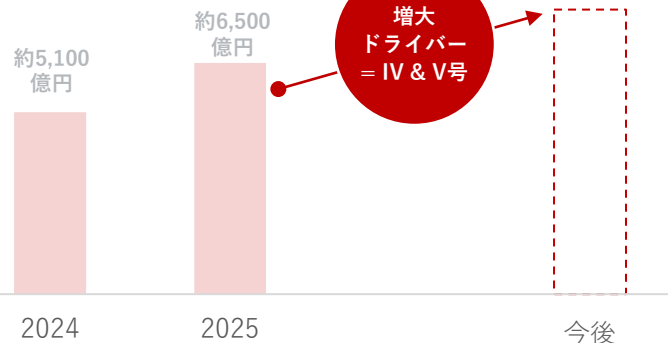
「キャリドインタレスト」が
増大している

源泉

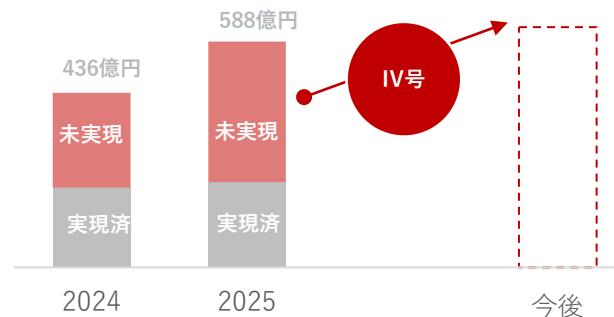
ストックからフローに

キャリドインタレスト
の将来の実現額を予想可能

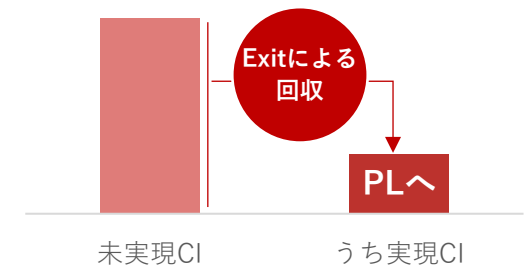
価値増大後の「ファンド残高」
= 回収 + 残存FV(フェアバリュー)



「キャリドインタレスト」が増大



実現キャリドインタレストが
生み出され、PL上で収益認識

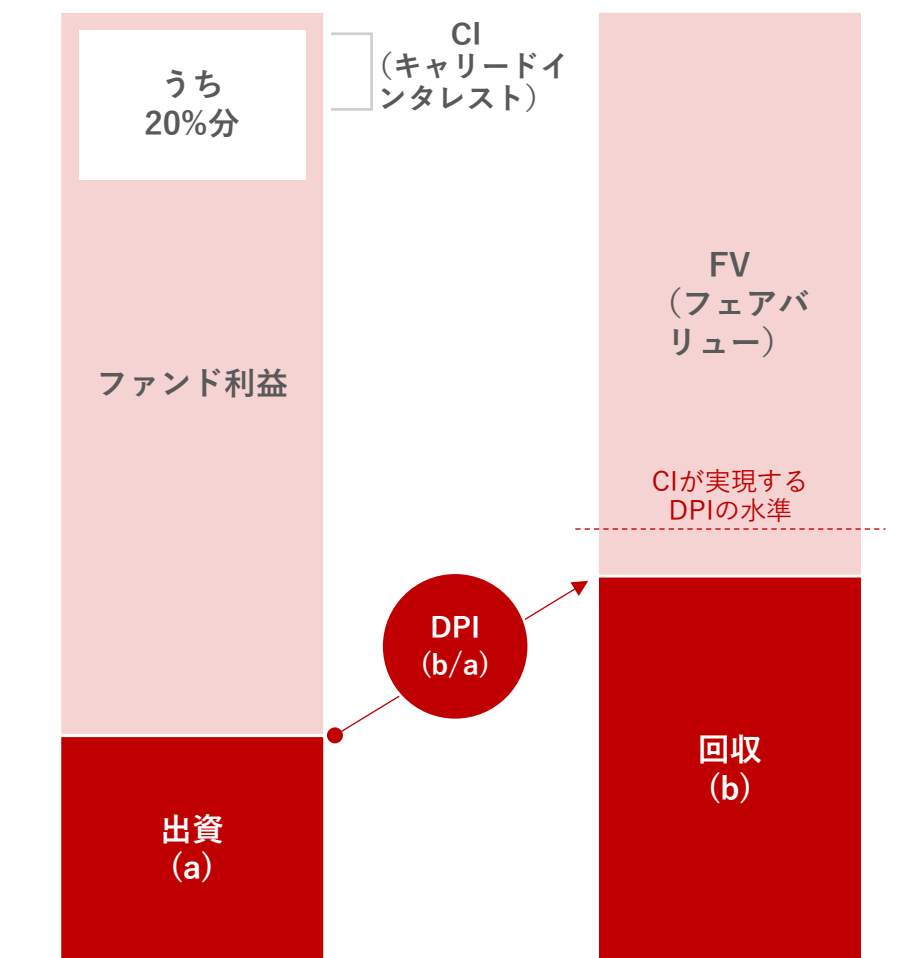


決算短信5ページでも主要なKPIとして開示

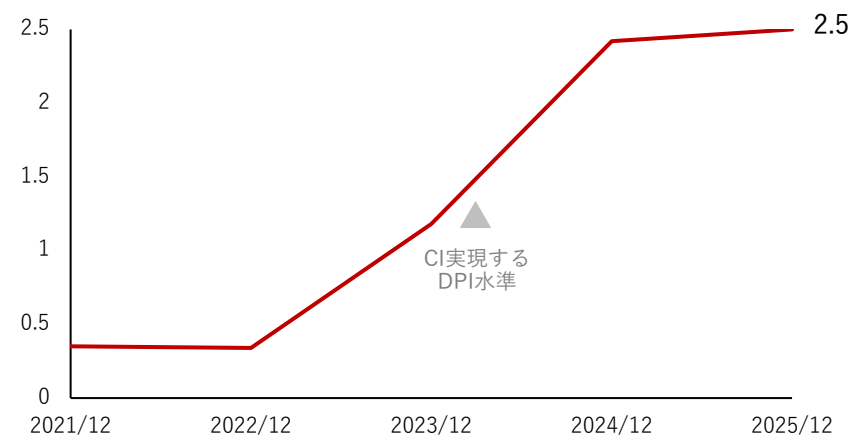
(億円)	2023/12	2024/12	2025/12
AUM	2,250	2,885	5,765
...			
未実現キャリドインタレスト			
2号ファンドシリーズ	20	6	10
3号ファンドシリーズ	144	80	165
4号ファンドシリーズ	53	150	176
不動産ファンド1号	NA	NA	NA

第二の柱④ キャリートインタレストの先行指標（DPI）

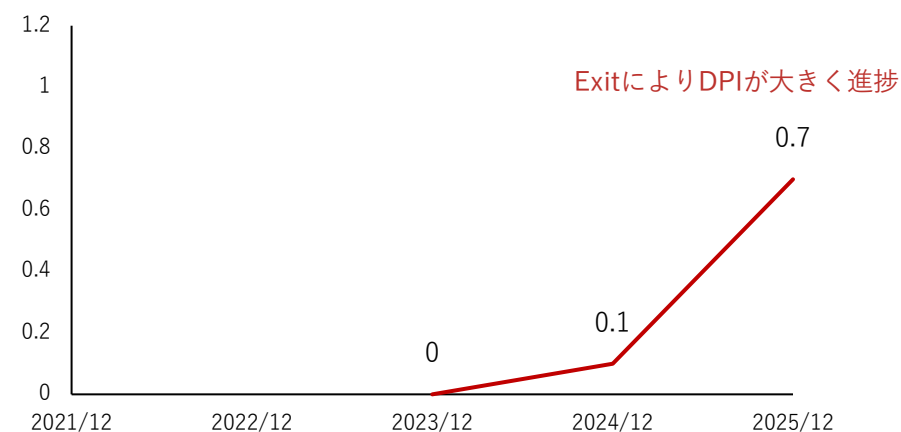
DPI (Distribution to Paid-In Capital)が先行指標に



3号シリーズ¹



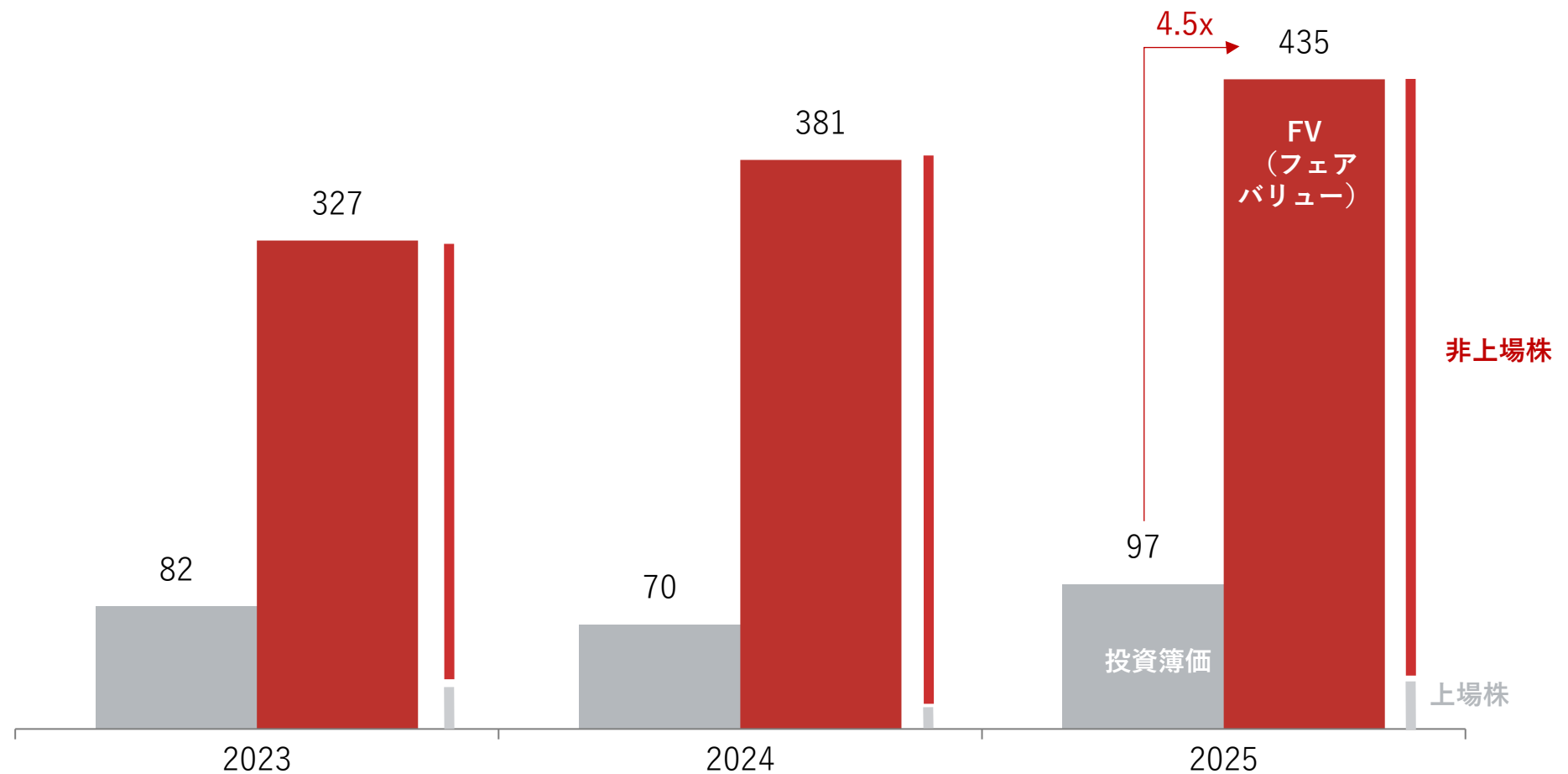
4号シリーズ



1. 支払済のCI（キャリートインタレスト）を考慮する前のDPI数値

第三の柱 外部環境の変化等によりFVにインパクト

(億円)



総括

- 1 — マルチアセット展開も着実に進捗：
不動産投資事業は1号ファンド運用開始、管理報酬を受領し始め
グローバルテック・グロース投資事業は2件の投資を実行
- 2 — PE：5号ファンドシリーズの運用開始によりリカーリング収益である受取管理報酬が大幅に増加
- 3 — PE：投資及びExit活動が活発：新規投資5件、投資回収2件

Appendix

1

インテグラルについて

当社パートナー・CFO



山本 礼二郎

代表取締役パートナー / 創業メンバー



佐山 展生

パートナー / 創業メンバー



辺見 芳弘

取締役パートナー / 創業メンバー



水谷 謙作

取締役パートナー / 創業メンバー



早瀬 真紀子

取締役パートナー



二井矢 聡子

パートナー（弁護士）



後藤 英恒

パートナー



山崎 壯

パートナー



西岡 成浩

パートナー



澄川 恭章

CFO&コントローラー（公認会計士）

不動産投資ファンドのパートナー



江村 峻徳

インテグラル・リアルエステート株式会社
代表取締役パートナー / 創業メンバー

- ミリア・レジデンシャル
- イデラキャピタルマネジメント
- アーバン・アセットマネジメント



中井 宏典

インテグラル・リアルエステート株式会社
代表取締役パートナー / 創業メンバー

- CBREインベストメントマネジメント
- 東京海上アセットマネジメント
- ヒューリック
- K J R マネジメント
- 東急



中原 健佑

インテグラル・リアルエステート株式会社
代表取締役パートナー / 創業メンバー

- オリックス
- キャピタランド・ジャパン
- M&G Real Estate Japan
- Phoenix Property Investors Japan



住谷 智宏

インテグラル・リアルエステート株式会社
代表取締役パートナー / 創業メンバー

- ブラックストーン・グループ
- 大和証券SMBC

インテグラル・グローバルテック・パートナーズ


































チーコン・チュン Chee Kong Choun

インテグラル・グローバルテック・
パートナーズ株式会社
代表取締役パートナー

起業家・投資家として豊富な経験を持ち、現在はインテグラルにてグロース投資を牽引。前職のTemasekのPavilion Capitalでは、日本投資責任者および投資委員会メンバーを務め、10億ドルを超える資産運用を指揮した。以前はテクノプレナーとして成功を収めたほか、Edenredやヒューレット・パカード・アジアパシフィックにて上級管理職を歴任。日本語が堪能であり、特にクロスボーダー投資や市場参入戦略において深い専門性を有する。

投資・Exit実績

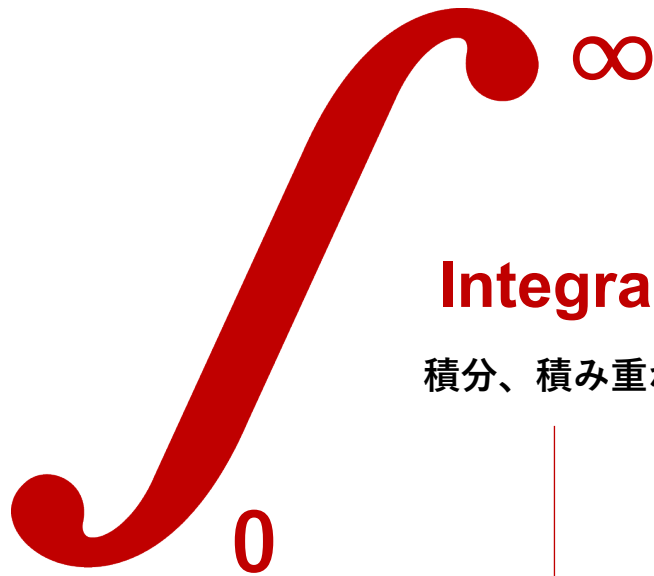
1号投資 実行	 Yohji Yamamoto	 SHICATA CO.	 アパマンショップ															
2号投資 実行					 convano	 J-Trading	 Aderans											
3号投資 実行								DmMiX		 日東工フー株式会社	 WAMEZOU K2TOP HOLDINGS							
										 サンデン・リサーチ・システム株式会社	T-Garden							
4号投資 実行												 oliver	 shoken GROUP Daijohs.	 TCS HOLDINGS				
5号投資 実行																	旭化成メタル株式会社 GDO Extlink	
	2008	2009	2010	2011/ 2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
エグジット										 アパマンショップ SHICATA CO.		DmMiX (部分Exit)	OHIZUMI	 (部分Exit)	 Tbi ¹ (部分Exit)	 JRC (部分Exit)	 (部分Exit)	 (部分Exit)
														 (部分Exit)	 (部分Exit)	 (部分Exit)	T-Garden	

2

インテグラルの特徴

Our Mission

我々のミッション



Integral

積分、積み重ね

ハートのある信頼関係と
最高の英知の積み重ね



Trusted Investor

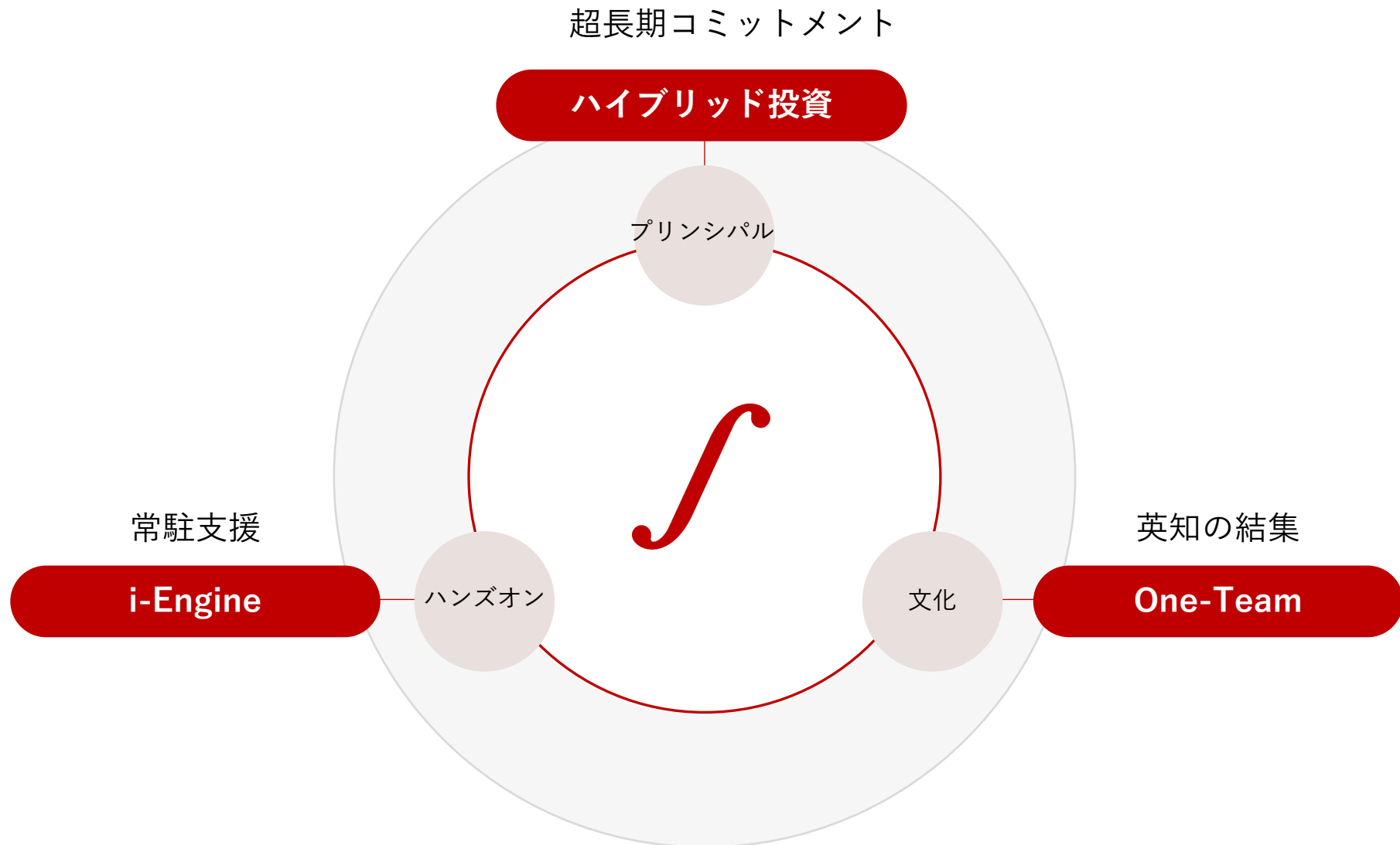
信頼できる資本家

経営と同じ目線・
時間軸



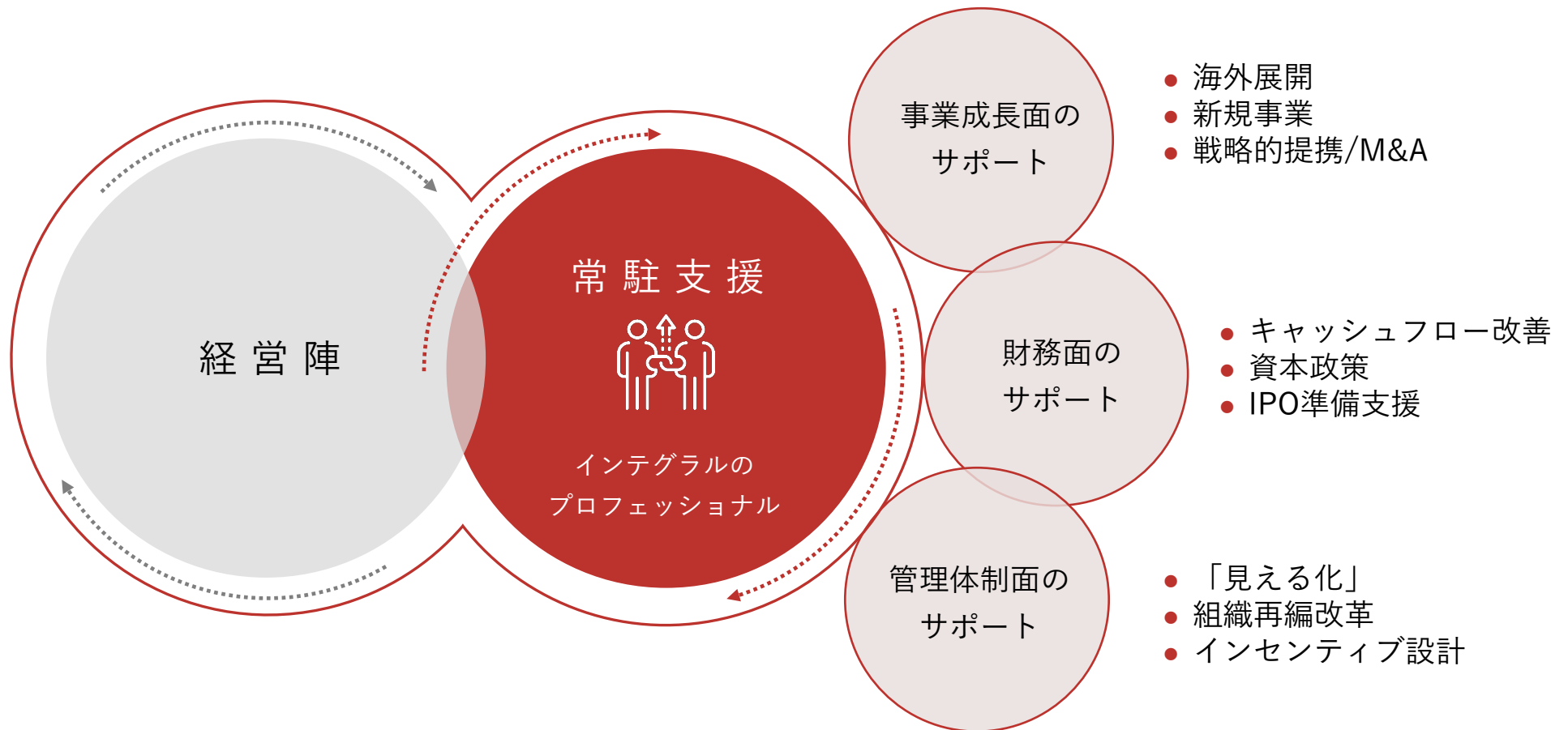
世界に通用する
日本型の企業改革を
実現

なぜインテグラルが差別化されているか



i-Engine とは

投資プロフェッショナルが常駐でハンズオン支援することで
社内体制強化を迅速かつシームレスに実行



3

チャンスに満ちたビジネス機会

日本には広大なアップサイドが存在



ファンドの資金調達サイド

GDP全体に占めるPE関与割合

Japan

0.4%

United States

1.3%

United Kingdom

1.9%

Germany

0.7%

日本はユニークであり
需要と供給の
両方が成長へ

オルタナティブ資産への投資割合

GPIF (Japan)

1.6%

PFA for Local Govt.
(Japan)

1.3%

Federation of
municipalities (Japan)

1.1%

GPF (Norway)

2.3%

NPS (South Korea)

15.9%

CalPERS (US)

28.3%

CPPIB (Canada)

53.0%

NSSF (China)

14.0%

CalSTRS (US)

45.5%



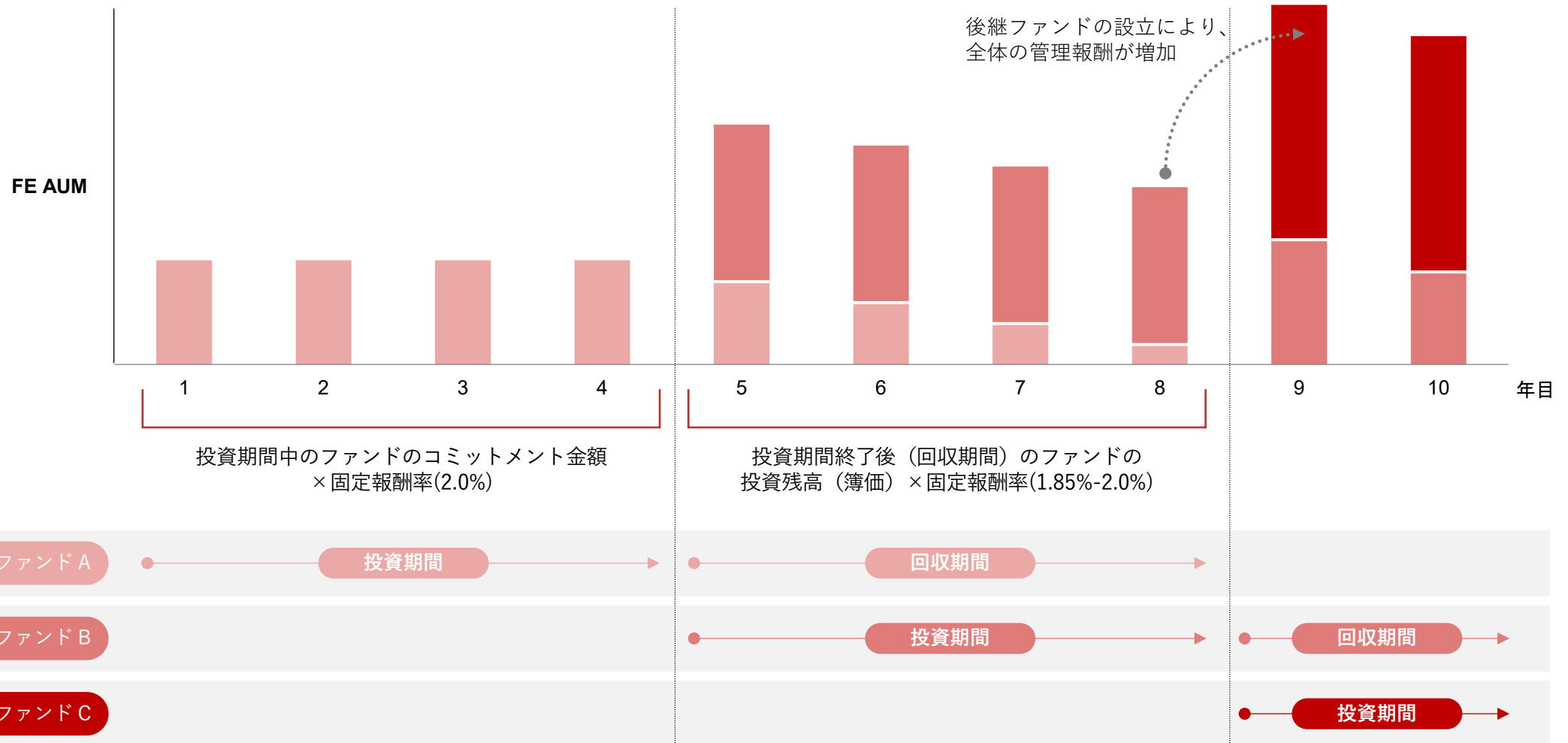
ファンドの投資サイド

4

インテグラルの事業モデル

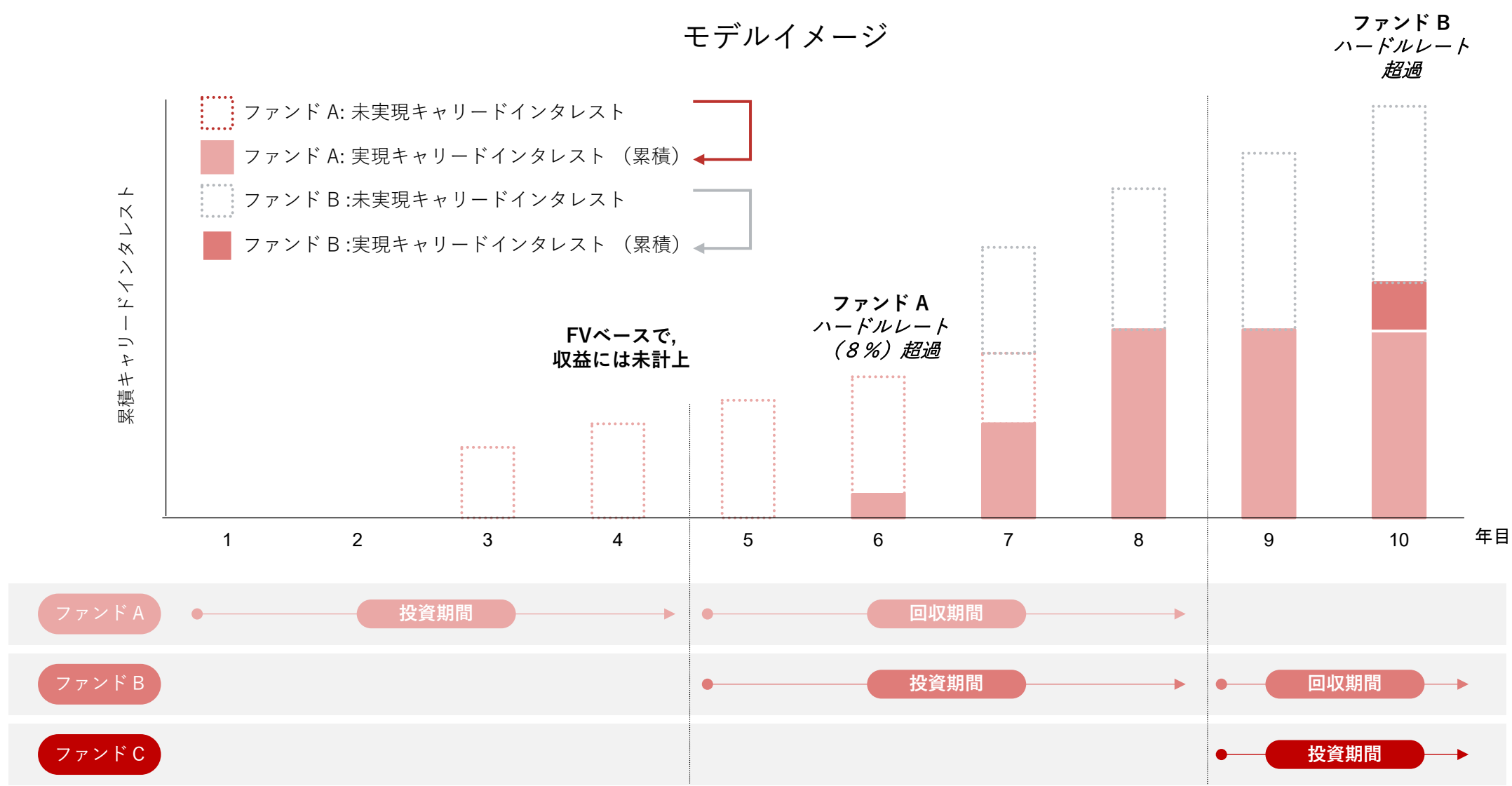
管理報酬が、企業価値向上の礎に

モデルイメージ¹



1. 前提条件：4年ごとに次号Fundを設立し、次号Fund毎にファンドサイズが1.5倍増加した場合の想定

ハードルレートを超えると、キャリドインタレストが実現



キャリードインタレストの高い投資効率

リターンに関するモデルイメージ¹

想定	投資額 (LP+GP)	100億円	GPコミットメント	2%
	投資期間	4年	ハードルレート	8%
	投資回収額	250億円	ハードル投資利益	36億円

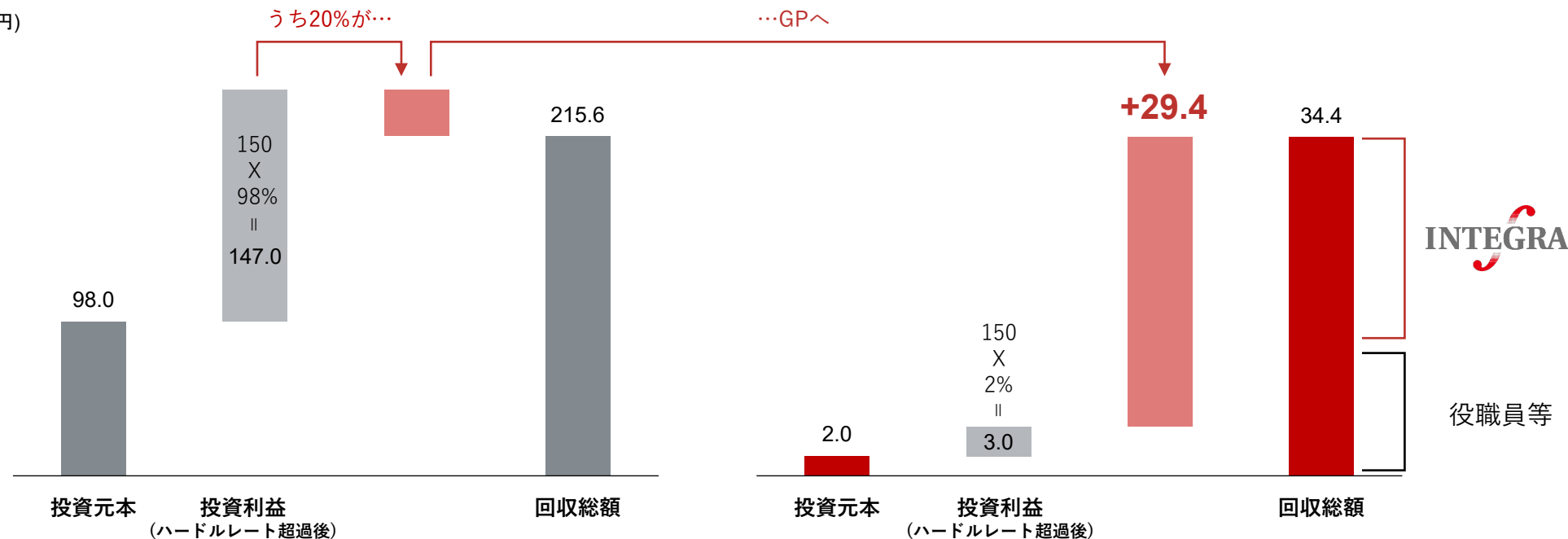
LPのリターン

MOIC¹ 2.2x: IRR¹ 21.8%

GPのリターン

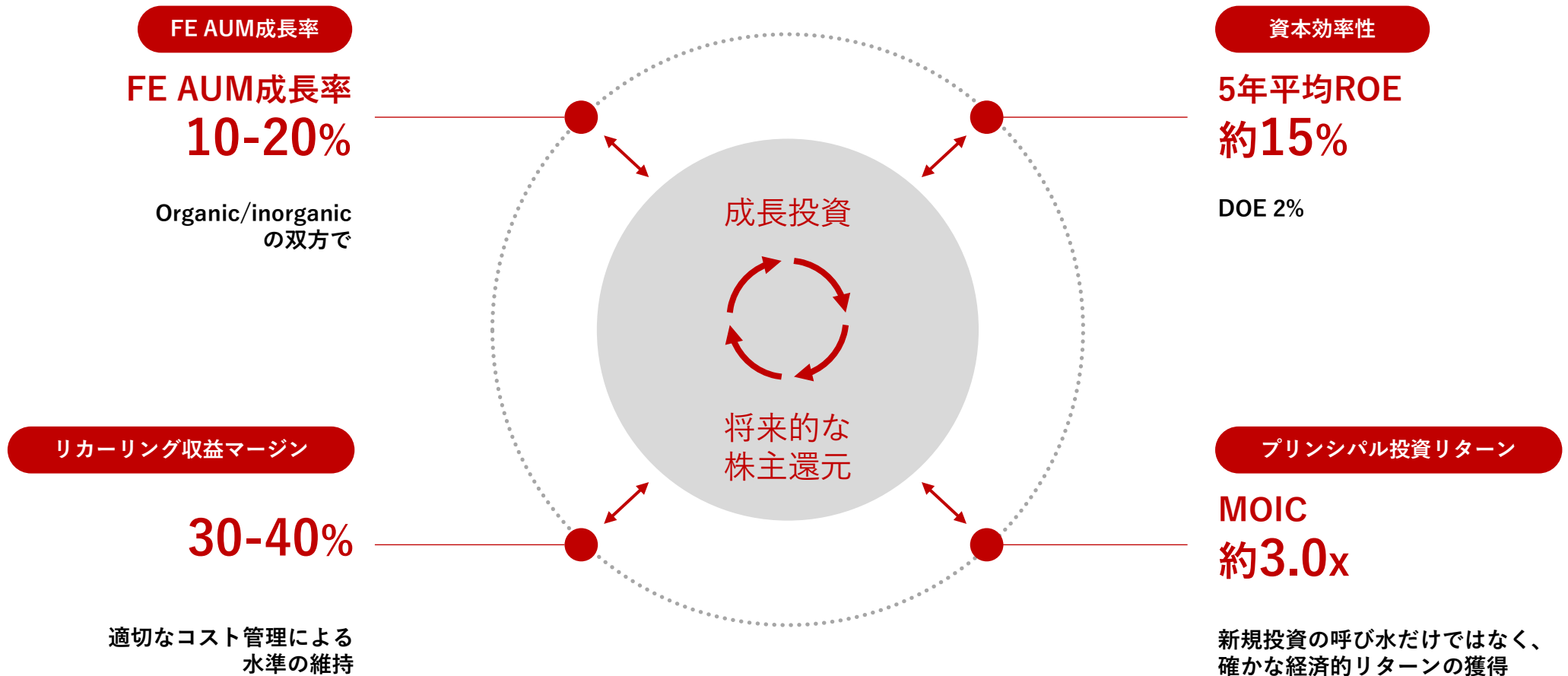
MOIC¹ 17.2x: IRR¹ 103.6%

(億円)



1. 上記の前提に基づき算出されたNet MOIC / IRRを指す。Net MOIC / IRRとはそれぞれ、案件への投資実行額に対する、当該案件の回収額(未実現のキャリードインタレストを含まない。)から諸費用を控除したリターンに基づく割合と内部収益率を指す

ターゲットしていく各KPI



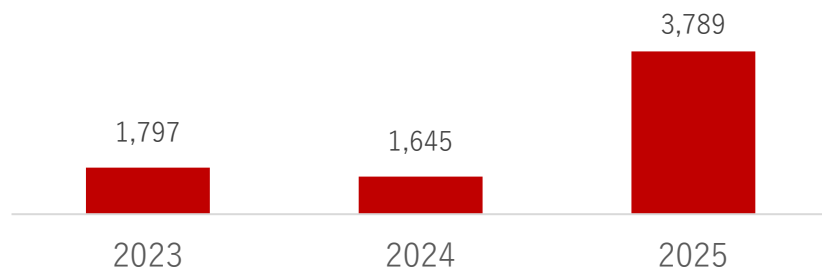
5

財務数値

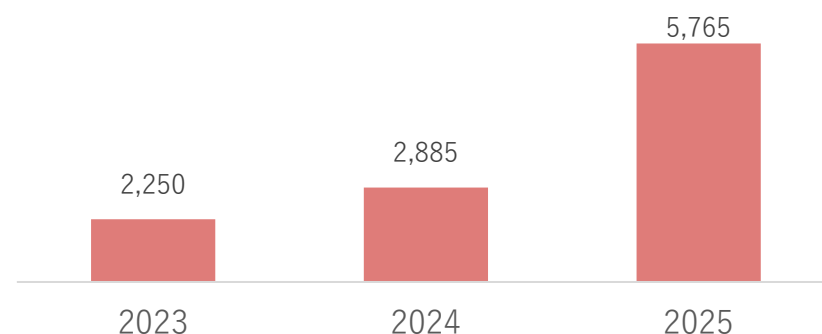
FE-AUM、AUM、ファンドFV

(億円)

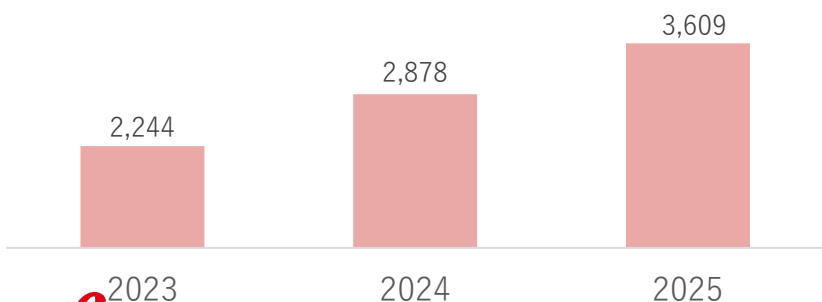
FE-AUM¹



AUM



ファンドFV



(投資期間中のファンド)
5号ファンドシリーズ、不動産1号
の出資約束金額

+

(投資期間終了後のファンド)
2・3・4号ファンドシリーズの投資残高

FE-AUM¹

(投資期間中のファンド)
5号ファンドシリーズ、不動産1号
の出資約束金額
又は投資ポートフォリオのFair Value
のいずれか大きい金額

+

(投資期間終了後のファンド)
2・3・4号ファンドシリーズのFair value

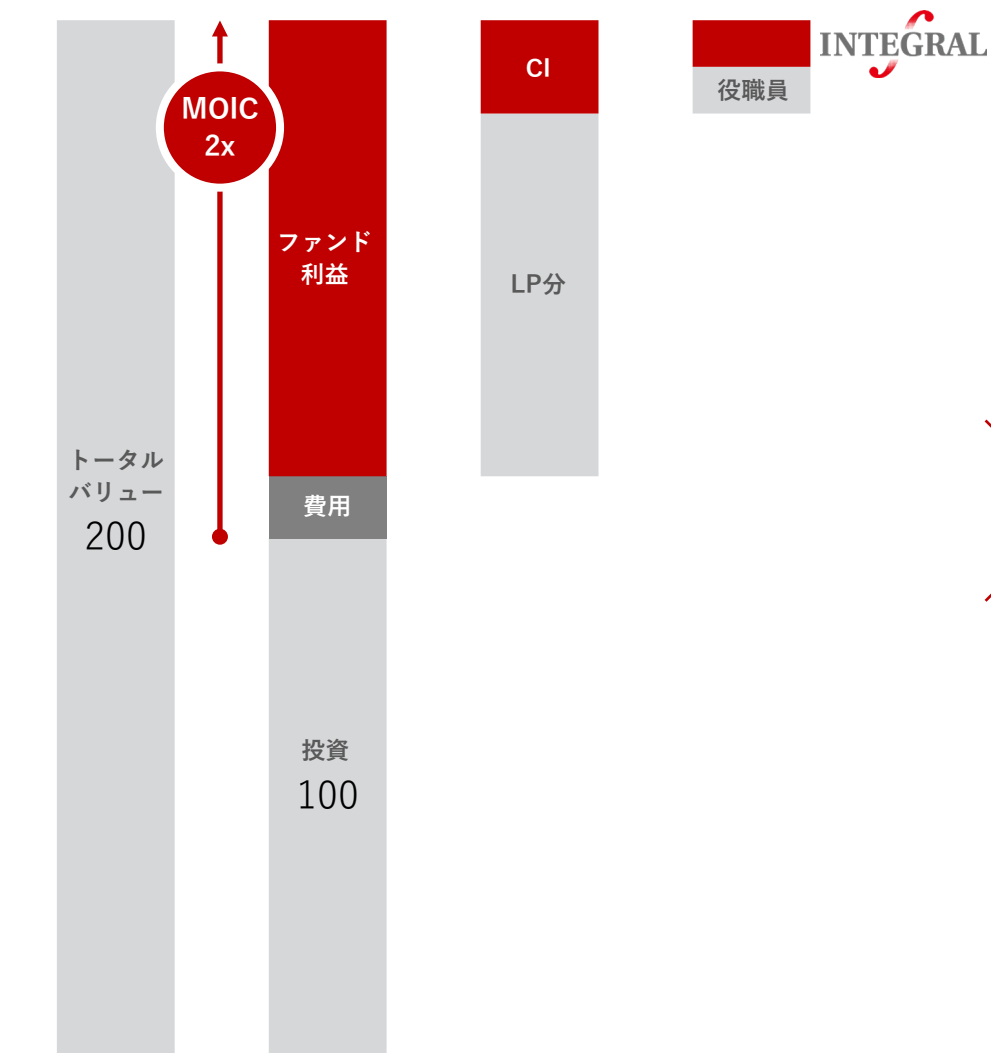
AUM

2・3・4・5号ファンドシリーズ、不動産1号
の投資中案件のFair Value

ファンド毎の未実現CI

(億円)

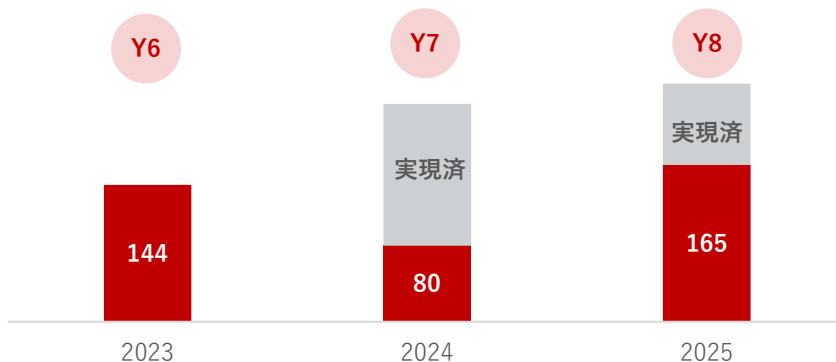
フレームワーク: MOICがCIの大きさに直結



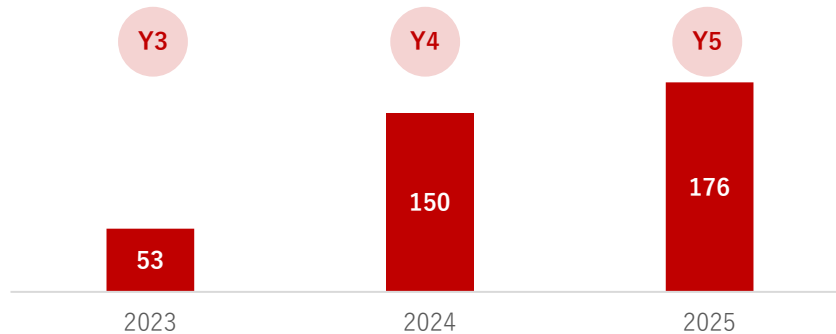
2号シリーズ



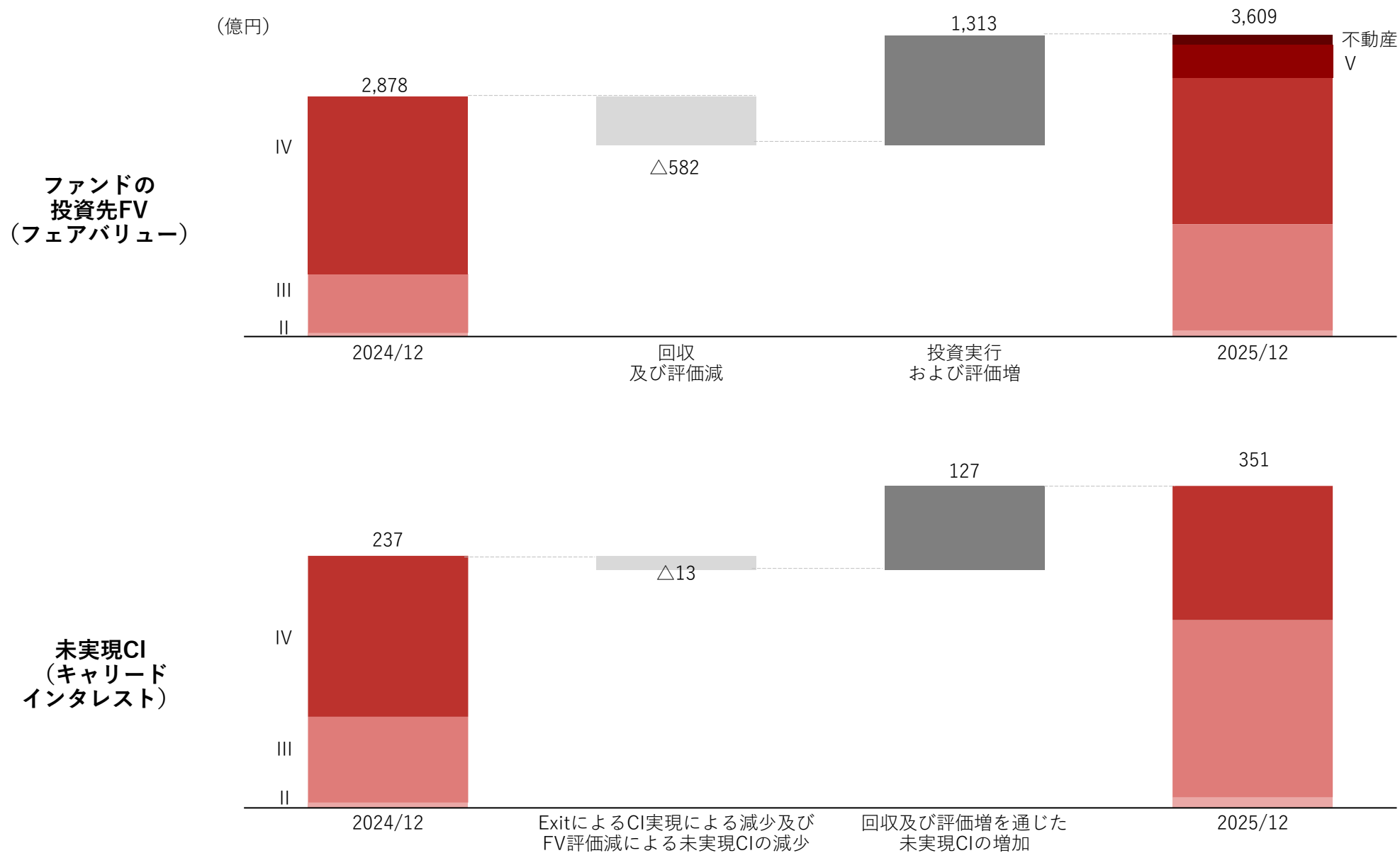
3号シリーズ



4号シリーズ



FVおよび未実現CI

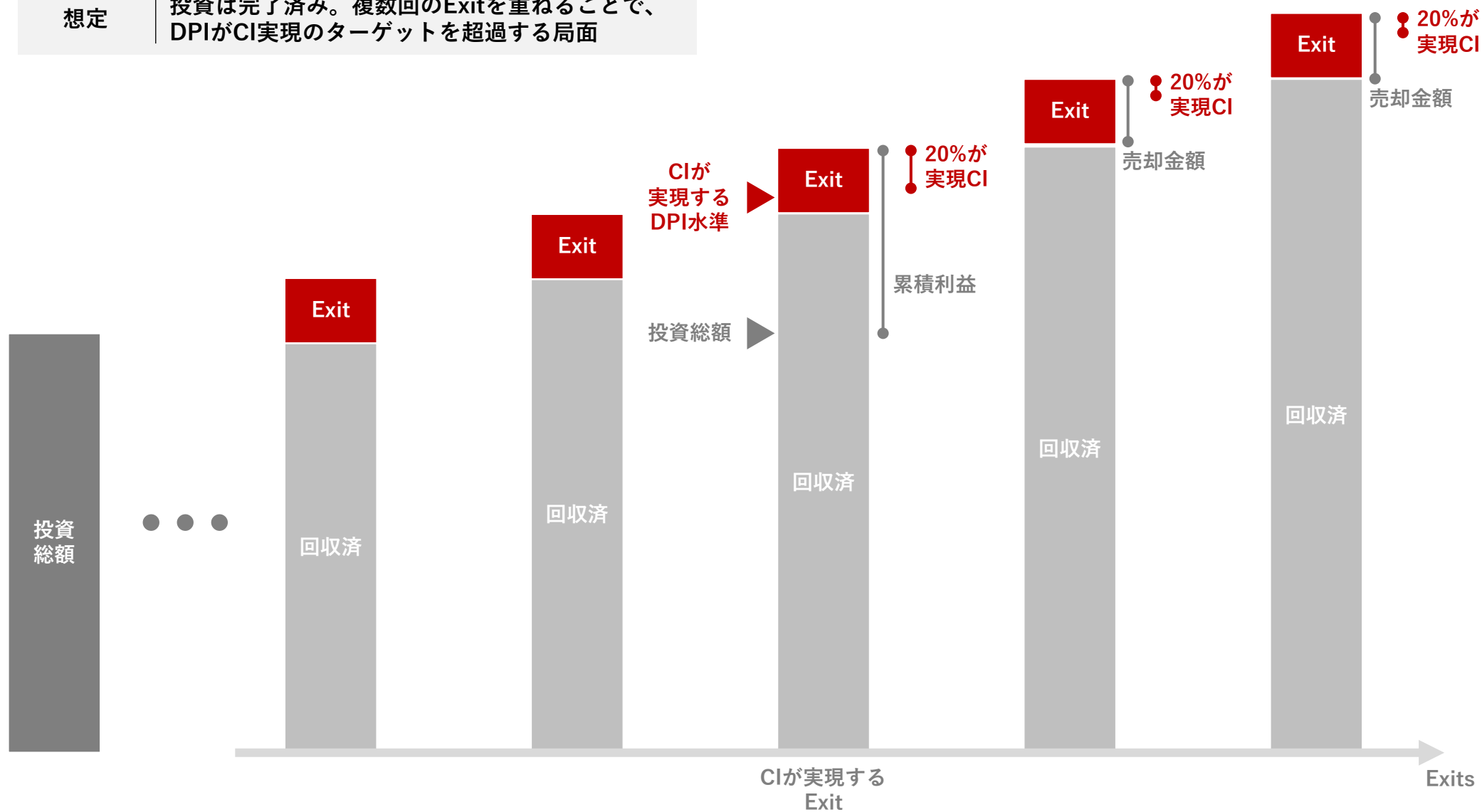


DPIとCI実現

1ファンドにおけるモデルイメージ

想定

投資は完了済み。複数回のExitを重ねることで、DPIがCI実現のターゲットを超過する局面



主要財務数値

連結損益計算書

	(百万円)	
	(実績) 2024年12月期 通期	(実績) 2025年12月期 通期
投資売却による実現利益（損失）	1,200	0
ポートフォリオへの投資の公正価値変動	2,219	2,350
公正価値で評価している子会社の公正価値変動	7,187	1,969
配当	26	48
ポートフォリオからの受取利	—	32
投資収益総額	10,633	4,400
受取管理報酬	3,494	7,553
キャリードインタレスト	16,849	1,364
経営支援料	250	332
その他の営業収益	2	4
収益	31,230	13,655
人件費	2,731	2,889
その他販管費	2,480	1,509
営業費用	5,212	4,399
営業利益（損失）	26,017	9,256
金融収益	225	303
金融費用	257	295
税引前利益（損失）	25,985	9,264
税金費用	7,879	3,190
当期利益（損失）	18,105	6,073

主要財務数値

連結財政状態計算書

	2024年12月期	2025年12月期
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	22,137	19,277
営業債権及びその他の債権	10,779	901
未収法人所得税	1	1,756
その他の短期金融資産	1	0
その他の流動資産	149	191
流動資産合計	33,070	22,128
非流動資産		
投資	42,730	57,711
ポートフォリオへの投資	7,534	14,673
公正価値で評価している 子会社への投資	35,196	43,037
有形固定資産	178	179
使用権資産	420	520
無形資産	1	0
貸付金	2,387	2,107
公正価値で評価している子会社への貸付金	－	390
その他の長期金融資産	260	264
その他の非流動資産	－	1
非流動資産合計	45,979	61,174
資産合計	79,050	83,303

	2024年12月期	2025年12月期
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	897	983
未払法人所得税	4,612	1,431
未払消費税	29	229
前受金	1,406	2,410
借入金	759	－
公正価値で評価している 子会社からの借入金	－	1,300
リース負債	111	229
賞与引当金	258	－
その他の流動負債	119	160
流動負債合計	8,195	6,744
非流動負債		
借入金	2,389	2,107
リース負債	153	191
資産除去債務	212	212
繰延税金負債	10,465	11,619
非流動負債合計	13,220	14,130
負債合計	21,415	20,875
資本		
資本金	7,634	7,634
資本剰余金	6,421	6,459
利益剰余金	43,574	48,333
新株予約権	0	0
自己株式	△6	△4
親会社の所有者に帰属する 持分合計	57,624	62,422
非支配持分	9	5
資本合計	57,634	62,428
負債及び資本合計	79,050	83,303

主要財務数値

連結キャッシュ・フロー計算書

	(実績) 2024年12月期 通期	(実績) 2025年12月期 通期
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前利益(△は損失)	25,985	9,264
減価償却費及び償却費	205	355
受取利息及び受取配当金	△251	△384
支払利息	255	295
引当金の増減額 (△は減少)	191	△258
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△10,573	9,877
ポートフォリオへの投資の増減額 (△は増加)	933	△7,138
公正価値で評価する子会社への投資の増減額 (△は増加)	△7,259	△7,841
貸付金の増減額 (△は増加)	△2,220	440
公正価値で評価する子会社への貸付金の増減額 (△は増加)	－	△390
その他の金融資産の増減額 (△は増加)	37	△0
その他の資産の増減額 (△は増加)	△6	△49
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	56	86
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△7	199
前受金の増減額 (△は減少)	791	1,003
その他の負債の増減額 (△は減少)	△0	41
その他	△0	△0
小計	8,138	5,502
利息及び配当金の受取額	27	227
利息の支払い額	△63	△138
法人所得税の支払額及び還付額 (△は支払い)	△2,284	△6,972
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,818	△1,380

	(実績) 2024年12月期 通期	(実績) 2025年12月期 通期
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△11	△84
敷金及び保証金の差入による支出	△91	－
投資活動による キャッシュ・フロー	△102	△84
財務活動によるキャッシュ・フロー		
公正価値で評価している子会社からの借入れによる収入	－	2,800
公正価値で評価している子会社からの借入金の返済による支出	△3,500	△1,500
借入れによる収入	2,255	－
借入金の返済による支出	△780	△1,201
リース負債の返済による支出	△141	△214
自己株式の売却による収入	52	38
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△398	△1,317
非支配持分からの払込による収入	10	－
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,501	△1,394

用語集

本資料における用語	用語の内容
AUM (Asset Under Management)	運用資産残高。投資期間中のファンド又は投資期間の定めのないファンドは出資約束金額又は投資ポートフォリオのFair Valueいずれか大きい金額により、投資期間終了後のファンドは投資ポートフォリオのFVIにより集計
FE AUM (Fee Earning AUM)	投資期間中のファンド又は投資期間の定めのないファンドは出資約束金額により、投資期間終了後のファンドは投資ポートフォリオの取得原価残高により集計
MOIC (Multiple Of Invested Capital)	各ファンドシリーズにおける各投資案件への投資実行総額に対する総回収額及び未回収の投資先企業のFVの合計の割合
IRR (Internal Rate of Return)	投資案件に対するリターンを年率換算した収益率
プリンシパル投資	LPから集めてきたファンド資金によるファンド経由の投資(ファンド投資)ではなく、当社グループ自己資金による投資
管理報酬	ファンド運営の対価として当社グループが四半期ごとにファンドより受領する金額。投資期間中のファンド又は投資期間の定めのないファンドは出資約束金額、投資期間終了後のファンドは投資ポートフォリオの取得原価残高を基礎として報酬料率(年率1.85%~2.00%)を乗じた金額。
経営支援料	投資先企業より当社グループが受領する経営支援に対する対価
リカーリング収益	管理報酬と経営支援料の合計であり、当社グループが安定的に受領することが期待できる収益
GP (General Partner)	ファンドの運用に対して無限責任を負う組合員を意味し、ファンドの運用者である当社グループを指す
LP (Limited Partner)	ファンドの運用に関する権限を持たず、その責任はファンドに出資した金額を上限とする組合員を意味し、当社グループが運用するファンドの投資家を指す
ハードルレート	組合契約上で定められるファンドの投資家への優先分配を定めた割合。現行のファンドシリーズにおいては出資履行金額に対して年率8%(当社グループはGPとして、当該割合を超過後にキャリードインタレストを受領する権利が発生)
i-Engine	当社グループによるハンズオン型経営支援の呼称
DPI (Distributions to Paid-In capital)	ファンドの投資家による累計出資金額に対する投資家への累計分配金額の割合
キャリードインタレスト(CI)	ファンドがハードルレートを上回る分配を行った場合に当社グループが受領出来る分配額であり、ファンド利益累計額の20%から既に受領済のキャリードインタレストを控除した金額
未実現キャリードインタレスト	各四半期時点で投資先企業をその時点のFVで売却したと仮定した場合に当社グループが受領することが出来ると見込まれるキャリードインタレストの金額より既に実現済のキャリードインタレストを除外した金額(役職員によるGP出資分を除いた当社グループ取得見込み金額)
UCAT (Unrealized Carried Interest After Tax)	未実現キャリードインタレストから実効税率に基づく実現時の想定税金額を控除した金額
経済収益ベース純資産	連結財政状態計算書の「親会社の所有者に帰属する持分合計」とUCATの合計金額であり、未実現キャリードインタレストが実現したと仮定した場合に想定される資本の金額

INTEGRAL

A stylized red integral symbol (\int) is positioned behind the word "INTEGRAL". The symbol is rendered in a vibrant red color with a subtle gradient and a slight shadow effect, giving it a three-dimensional appearance. It is centered vertically and horizontally behind the text.